京城日報

本紙定價 一ヶ月金七拾五錢 …
廣告料 …
發行兼編輯人 小川三之介
印刷人 …
發行所 京城大和町一丁目 合資會社京城日報社

十一月二十二日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇英國の獨回答觀 無條件降服獨帝退位說無根據

倫敦來電＝和蘭方面より出でたる報道なりとして倫敦に於て専ら傳へらるゝところに依れば獨逸は無條件降服の決心を爲し獨帝は既に退位したりとの事なるも斯る風說は何等確實なる根據あるに非ず官邊に於ては獨逸は米國大統領ウイルソン氏の十月十四日附通牒に係る獨逸の軍事上並に憲法上の諸條件に關し完全なる承認の形式を以て米國政府に對し回答を發するならんと思惟しつゝあり(東京特電)

◇親獨系勢力失墜 伯林土國聯絡杜絶と獨艦派遣

土耳其國內に於ける青年土耳其黨は勃牙利の降服以來勢力失墜し親獨系の中心勢力全く崩壞したるを以て獨逸は是が善後策を講じつゝありしが果然黑海より二十隻の艦隊を派遣し青年土耳其黨を援助しつゝあり尤も其筋には未だ確報無きも多分事實なるべし但し黑海には三四隻の土耳其艦艇及び若干の獨逸巡洋艦驅逐艦あるのみなるを以て廿隻とは聊か大袈裟なるも其中の若干隻がダーダネルス海峽を通過して派遣せられたるものならん而して是陸上に於て勃牙利屈服の結果伯林より土耳其への聯絡杜絶したるを以て海上より聯絡を通ぜんとするものなるべきも其效果は甚だ疑はしと云はざるべからず(東京特電)

◇墺國聯邦と民族 政府宣言書發布

紐育來電＝維也納よりの報道に依れば墺國政府は宣言書を發して曰く『墺太利は聯邦組織と爲し各民族は其占有する地方に於て自治政府を設置すべし、トリエスト及び其周圍の地方の住民(伊太利民族)は其希望に依り右聯邦と別の待遇を受くべし』

◇墺太利外相辭職

墺國外相ブリアン男は辭職せり(アムステルダム電報)

◇平和株大暴騰

紐育來電＝ウォール街の平和株は大暴騰を爲せるが之れ戰爭が平和の局を結ぶ可しとの確信加はり來れるが爲なり(東京特電)

◇米軍陣地突破

十七日附パーシング將軍の公報に依れば我第一軍の全線に亙り激烈なる戰鬪繼續しつゝあり我軍はグランプルを占領し全線に亙る重要陣地を突破し更に二千名の捕虜を獲得せり(華盛頓電報)

◇獨軍退却慘憺 撤退地域四日間に八百平方哩

參謀總長マーチ將軍發表に曰く獨軍は和蘭國境に迄及ぶ全白耳義海岸を撤退し同地は今や聯合國の手に歸せり敵の同海岸地方撤退は益々其範圍と速度を增し而も最近に於ける敵の行動は極めて迅速なり四日間に敵の撤退せる地域は八百平方餘哩に及べり尚英米軍はドーアイの前方に於て屢々攻擊を加へ聯合軍の前線を敵重なる獨軍の防禦圈內に迄進出せしめたりヒンデンブルグ線は今や全く聯合軍前進の後方にありフォシュ將軍は敵に寸暇をも與へず益々壓迫を繼續しつゝあり獨軍の退却は前週中オ……ものありと(東京特電)

◇獨墺軍各地退却

アゼルゴンヌ地方六十哩の戰線に於て開始され益々擴大し總に十五哩の戰線を除きたる白耳義海岸よりミユーズに至る二百五十哩の全戰線に及ぼせり(華盛頓電報)

アムステルダム來電＝獨墺の軍隊は塞耳維アルバニヤ黑山國の各地より退却しつゝあり(東京特電)

◇獨潜水艇增加

紐育發廿一日某所著電＝英國海軍大臣の發表せるところに據れば獨逸の潛水艇は最近其數增加し且つ其建造も從來より迅速となれりと(東京特電)

◇南北調停の好機 米國の參加か＝米公使の意向

支那內閣調停に關し駐米支那公使は本國と打合せの結果其準備として米國の參加を主張せる旨十七日北京政府に報告せり尚駐支米國公使ラインシュ氏も南北調停の必要を認め居る事確實にして今や米國公使の歸任と時局の趨勢とは調停の好時機と爲れるものの如し(天津電報)

◇廣東參議院議長

十七日廣東參議院に於て議長選擧の結果前南京政府臨時參議院長たりし林森氏當選せり(廣東電報)

◇臨時外交調査會

原內閣成立後第一回の臨時外交調査會は二十二日午前十時より宮中東三の間に於て開會原總裁以下各委員幹事等參集初顏合せを爲し去十六日委員仰付けられたる內田外相田中陸相寺內伯後藤男新幹事高橋山梨諸氏の就任挨拶あり終つて內田幹事長より外交上の報告ありたる後重要事項に就き考査審議する筈なり又定例會議は一日繰上げ二十三日首相官邸に於て開會せらるべしと(東京特電)

□御進講

天皇陛下には二十一日午後一時宮內省御用掛小牧昌業氏を御前に召させられ前回に引續き論語の御進講聞し召され側近奉仕の諸官にも御陪聽仰付られ午後三時入御在らせられたり(東京特電)

◇印度船舶管理令適用嚴重

日本郵船カルカッタ支店發同本社への入電に據れば印度政廳の船舶管理令適用は最近極めて嚴重となり現に過般日本船にして印度より南米行き貨物を積取り契約を爲せるに其運賃制限を超過せるの理由を以て出港を禁止されたる爲め同船は空船の儘引還せり尚カルカッタ出港船舶にして船腹過剩の場合は印度政廳より古倫母及び關貢方面への石炭輸送を強制せられたる

◇歐露宛郵便物 通常郵便逓送不能

遞信省發表＝歐露宛通常郵便物は曩に西伯利經由遞送不能となりたる以來英國を經て遞送しつゝありしが芬蘭、ミユルマンスク及びアルハンゲル(北露白海岸)宛のもの、外遞送し得ざる旨今般英國郵政廳より電報ありたるに就き夫れ以來の歐露各地宛通常郵便物は全然遞送不能となれり(東京特電)

◇中旬對外貿易 出超二千六百四十七萬

大藏省の調査に係る十月中旬の對外貿易は輸出六千三百十四萬八千圓輸入三千六百六十七萬一千圓差引出超二千六百四十七萬七千圓にして一月以降の累計は輸出十五億五百七十萬二千圓輸入十三億百七十五萬三千圓輸出超過二億三百九十四萬九千圓となれり(東京特電)

◇尾藤武官南行

畏き大御心より曩に浦鹽沿海州及び北滿に派遣あらせられたる御慰問使侍從武官陸軍少將尾藤知勝氏の一行は通路各地に優渥なる御慰問の命を傳へ特命を果して二十一日午後三時四十分奉天通過南行せり(奉天特電)

◇辭令

二十一日左の通り辭令ありたり(東京特電)

朝鮮總督府事務官 林繁藏
南亞米利加及び北亞米利加へ出張被仰付

◎西伯利經濟戰 英米の大規模活動

西伯利に於ける軍事的行動一段落を告げ更に外交戰となり經濟戰となるべきは一般の期待する處なるが米國は對西伯利策として大規模の經濟的援助を爲さんとし目下計畫中なりやにて近く大袈裟なる宣言を爲して活動を開始すべく現時の處にてはスチブンソン氏が三億圓の運動費を西伯利鐵道沿線に撒布して利權の獲得に努めつゝあるもの、如く之に對して英國の如きも浦鹽に銀行を設置し徐々活動の準備を爲し我邦の松田銀行の施設あり或方面に於てもチタ方面にて西保所屬の商人を利用して相當經濟的活動を試みつゝあり然ども今後英米の大規模の行動に對しては一方西伯利經濟援助委員會の活動と共に國民一致して此の方面に傾倒し以て同地に於ける經濟戰の障者たる事に勗む可きなり(某西伯利通談)

◎政務總監法相轉任說無根

山縣政務總監近く司法大臣に轉任すべしとの說東京より傳へられしが右は全然無根の風說なる旨其筋に確報ありたる由

◎政務總監歸期

東上中の山縣政務總監は二十七八日頃歸任すべく此の程某所に通報ありたり

◎定例長官會議

二十二日午前十時より總督府第一會議室に定例長官會議を開き長谷川總督を始め各部局長官所屬官署長參集諸般政務に就き夫々審議したり

◎三郵便局新設

遞信局にては十一月一日より左の三郵便局を新設する事となりたり

三水郵便局 (咸南三水郡三南面)
大新里郵便局 (咸南端川郡)
新浦郵便局 (黃海道)

右開設に付從來設置しありたる北青郡新浦郵便所竝に咸南三水郡三南面三水郵便所は十月三十一日限り廢止され兩所にて取扱ひたる事務は新浦及び三水郵便局にて承繼する事となれり

◎總督邸晚餐會

長谷川總督は今回第二水雷戰隊司令官に榮轉せる釜屋海軍少將の爲め二十三日午後六時半總督官邸に於て送別晚餐會を催す筈なるが同日は宇佐美內務部長官、兒島警務總長、村田武官、久水外事課長……陪席する事となれり

◎鮮銀の金利引上 預金利上と同時に實行＝日步最低一厘乃至二厘方＝

朝鮮銀行にては十六日より預金利子の引上を實行すると同時に普通の取引先竝に同業者に對する金利を手形割引擔保貸附竝に擔保付當座貸越共銀行竝に取引先の實際擔保の種目等を參酌の上最低日步一厘乃至二厘方の引上げを行ふ事に決定し既に實行しつゝあるが右の結果客月十六日以降日本銀行標準金利引上のため鮮銀の同業者に對する最低利子は日銀との間に開きを見る能はざりしも今回の改正により一二厘方の差を見るに至れり銀行利上理由に關する吉田局長の談は左の如し

▲利上理由 吉田理財局長談

日本銀行にては客月十六日より貸出金利最低二厘の引上を行ひたるが朝鮮は貿易上對內地關係を主とし各種企業資金其他▲一般經濟の關係に於て內地に對し附隨的關係に立てるを以て內地中央銀行の金利變更が朝鮮金融上至重の關係あるは勿論植民地は開發資本枯渇せる關係上母國資本の投下を誘致すると共に既に放下せられたる資本の保留存續を期せざる可からず況んや朝鮮の貿易は未だ輸入超過の大勢を持續し近年幾分入超減少を示したるに止るに於ておや故に大藏方針として內地中央銀行公定步合引上あ……

▲母國金利に比しては從來朝鮮の金利は高きも比較的危險性多き資本收益率多き事は植民地の常なるを以て幾分高步に決定するは論なき所なり而して鮮銀の在來採り來れる方針は同業者に對する金利を日銀公定步合の二厘方を以て大體の標準とするは先づ機宜に適せりと考へらるゝ故に此の程度の引上は必要なりと信ぜらるを得ず更に朝鮮對內地の關係を離れて朝鮮のみの狀態を察するに既に

▲市場金融は預金は定期五分五厘を標榜せるに六分以上は普通の取扱となり居り貸出金利は最低二錢三厘を唱へ一般の好景氣に伴なひ殊に資金の需要多く殊に秋季出穀期を控へて益々增加せんとし金融逼迫の狀態にあり從つて鮮銀が金利引上を實行するに當りても目下はその好期なるを疑はず且つ市場に對してもその影響は穩當にして金融の不況を生ずる事なかるべきなり(未完)

△市中各銀行預金利上

廿一日決定す

朝鮮銀行にては十六日より定期預金五分五厘(從來に比し五厘上)當座預金日步六厘(一厘上)特別當座日步一錢二厘(二厘上)を實行せし事は既報の如くなるが右の結果市中各銀行にても鮮銀の態度に追從すべく寄り〳〵協議中なりしが廿一日午後一時より銀行集會所に中村(殖銀)平岡(一銀)金(韓一)韓(漢城)西村(十八)景山(百卅)金(商銀)の各代表者參集協議の結果預金協定金利は從來の……

▲信用勢力……を至當となすとの多數意見ありしに依り市中各銀行との間に格差を設くる事となり結局(一)鮮銀一銀(二)殖銀(三)各銀行の三段に分つ事となりしが其協定利率は左の如し

▲鮮銀一銀 定期年五分五厘、當座六厘、特當一錢二厘
▲殖產銀 定期年五分七厘、當座六厘、特別當座一錢二厘
▲各銀行 定期年六分、當座八厘、特別當座一錢三厘

▲協定利率は右の如く決定せしも果して各銀行に於て從來の協定利率を遵守し大口に對しては協定利率を除外し高步を附せし所謂預金爭奪の弊風を脫するを得べきや否やは疑問とすべく要するに今回の協定は最低利率を引上げたるに留まらんとも目されつゝあり

經濟概況 ◎全鮮八月中

八月中に於ける朝鮮全道の經濟概況を聞くに米は調節米の移出に由り在荷減退の折柄內地米價は當月に入りても昂騰底止する處を知らず鮮米に對する註文殺到の狀態なりしを以て▲相場日に奔騰し仁川期米市場は十二日以降遂に新規賣買を停止するに至れり中旬に入り米騷動突發し收穫の損害に依り一時一部には其の影響を受け取引一時沈靜に歸せしも其の後內地救濟用米の註文輻輳せるに據て加へて軍需米の引受けあり相場は幾分もなく擡頭し來りしを以て當月の米界は概して取引旺盛を示し地方の思惑貯米も出廻期を目睫の間に控へて空前の高値に出廻り多く輸移出額に前月に比し百四十萬圓の增加を示せり而して一方綿糸布類も需要期に切迫せる折柄米綿高並に輸移出盛況等より相場強硬なりしを以て輸移入額百五十萬圓の增進を告げ當月貿易總額は前月に比し▲三百餘萬圓を激增し約三百萬圓の出超を計上せり商況上述の如く隨つて穀類並に綿糸布資金の需要頻繁にして銀行に米界の變調に鑑み此方面に相當警戒を加へたるに拘らず物價の昂騰鐵道の特別輸送に基づく滯貨等と相俟つて貸出高の膨脹となり同月末の民間貸出金は前月末に比し二百二十餘萬圓を增加し民間預金亦殖產銀行株式拂込金預入の關係等より若干の增加を告げ朝鮮銀行發券高は前月末に比し一千百萬圓を增加して七千七百萬圓の巨額に達し既に前年末の發行高を拔く事一千萬圓發行餘力を存する▲僅々三萬圓に過ぎざる狀態にて金融界は例年の夏枯時に際しながら未曾有の膨脹を示し越月せり

◎殖銀披露宴

朝鮮殖產銀行にては二十三二十四の兩日朝鮮ホテルに於て開業披露宴を張る由なるが二十三日は官吏側の主なる向二十四日は民間側に區分する由

◎三井重役來期

三井合名會社理事長團琢磨氏三井銀行常務米山梅吉の兩氏一行七名は二十二日朝東京發下關に小憩二十四日午後九時十分南大門驛著列車にて入京すべく二十五日各所訪問同日午後七時より朝鮮ホテルに官民有力者を招待し張宴すべしと

◎釜屋司官發期

釜屋第二水雷戰隊司令官は來る二十四日午前八時四十分南大門驛發列車にて出發東京に赴き同地に於て新任務附武官東條海軍大佐と事務の引繼ぎを爲し更に任地に向ふべし

◎石塚總裁來鮮

東拓總裁石塚英藏氏は同社參事針貝金次郎氏を隨へ二十二日午後四時東京發列車にて出發二十四日午後九時十分南大門驛着入京兩三日滯在の上南北滿洲を視察すべしと

◎嘉納總裁下仁

朝鮮銀行副總裁嘉納德三郎氏は秘書役下飯重兼氏帶同二十二日午前南大門驛發列車にて下仁仁川支店の事務を視察し同夜の新舊店長披露宴に出席即夜歸京の豫定なり

◎大田理事北滿行

大田鮮銀理事は北滿各地並に浦鹽に於ける狀況視察のため二十一日京城發北行したるが約三週間にして歸京すべし

◎車司令官張宴

……司令官は二十一日午後六時龍山官邸に於て總督府局所長……各高等官及各新聞社の……を招待晚餐を催したるが……の挨拶に對し……歡談の後十時散會したり

◎視察團參集

……視察團一行は二十二日午前十時……總督府に參集し……第二會議室に於て宇佐美內務部長官關屋學務局長より視察に關する一般の注意を受けたる後各自諸般の打合せをなせり因に一行は二十三日午後九時四十分新義州に向け出發すべし

◎機動演習參觀中止

京城學校組合の管理に屬する府內の學校に在りては來る二十七日水原に於て陸軍機動演習參觀の豫定ありしが昨今流行性感冒の蔓延に依り已むを得ず中止することゝなれり

□大塊遞相より

野田大塊翁より……博士宛來書に曰く(前略)今般小生入閣に付直接は勿論新聞紙上へ御祝辭御揭載被下候段難有奉謝候此上乍ら諸氏へは御序に可然御鶴聲被成下度希上候 木曾殿の木冠秋の御上洛

人事消息

▲小杉謹二郎氏(朝鮮無煙炭技師長) 二十一日朝出京
▲平村元次氏(總督府試補) 二十一日より三十二日間の豫定にて咸鏡北道管內へ出張を命ぜらる
▲弓削幸太郎氏(總督府學務課長) 往復十一日間の豫定にて平安南北道管內官立學校及實業學校視察の爲め出張を命ぜらる
▲依田省三氏(關東都督府事務官) 廿日退京
▲松永京畿道長官 廿日午前八時發列車にて水原に向ふ
▲吉田近藤兩三井重役 廿一日午前退京
▲南滿醫學校職員生徒廿三名 廿日午前九時五分列車にて仁川に向ふ
▲龍山公立小學校職員生徒廿二名 同廿日明太田に向ふ
▲井內鮮銀調査局長 北滿に出張中なりしところ二十一日夜歸京
▲松崎……社用にて二十一日夜南大門驛發大阪に出張二十七八日中には歸京の豫定

茶前酒後

◇近時米國大統領の、獨逸其他の敵國に對する回答が、頗る要領を得るは痛快の極也。然に其墺匈國に對するものは、就中最たる好なりとせざるを得ず。即ち墺匈國政府が何を爲す可きやを決定するは、米國大統領に非ずして、彼等自身の政府也と。洵に其言の、皆を刺す底のものなるに於て、最秀たるものと也とせざるを得ず。

◇露軍の鐵道遮斷に由つて、土國は、既に孤立無援の位置に陷れり。二國弱今日の形勢は、勃國の降服以來、塞、希、英、佛の聯合軍は、大いに頹勢を挽回し、將に一擧土耳に殺到し、君府を屠らんとす。彼の悲愴を擔にせし、エンベル、パシヤも、最早沒落より他に非ざるべし。嗚呼半月旗國も、遂に永遠の暗夜たらんか。

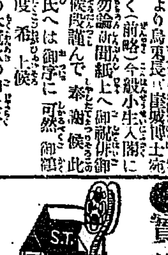
◇鳥の雌雄を知る人あらんも、誰か鰻の雌雄を知らんや。世界を民主々義の爲に救ふ戰爭をなす人と、世界を資本家主義より救ふ戰爭をなす人とは、其距離幾何かある。一方を軍國主義と罵れば、他方より資本家主義と反噬す。獨逸の軍國主義國に、案外民主々義發達し、米國の民主々義國に、案外軍國主義發達す。一方は軍國主義に民主々義を加味し、他方は民主々義に軍國主義を加味す。胡椒に鹽を交ぜたると、鹽に胡椒を交ぜたるとの相違也。

◇何れにしても同一也。世は樣々也。見やう云ひやうに依て、異なる樣に見るは面白し。然れども結局如何なる理窟よりも、現世は實力也。

木炭 平壤栗 (卸小賣)
根炭 白炭 山成り德用品
手攜德用品虫喰なし
御用の御方は電話二〇八番に御用命被下候へば即時配達可致候
京城本町三丁目
貿易雜貨商 藤富國太郎商店
長電話二〇八番振替京城二七七八番

米價崩落
講和問題、新穀出廻、買方滿腹及び外米關稅撤廢等一として米價低落の因たらざるなし、時局を觀望し靜機を窺ひ居たる諸士出動の時は今也、玆に第九回を組織す、從來多大の配當をなしたる本會が此好機に更に多額の配當をなし得るは勿論なり、敢て諸士の急速參加を俟つ
申込期間 十一月五日
第九回加入金 一口參拾圓
▲會則贈呈▼
日本信託商會證券部
期米青同氣會
大阪市北區堂島濱通一丁目二
電話北(長)九七二・一九〇四・振大四〇五六九

電燈を暗くする器具
金五拾錢也
京城朝鮮銀行裏 ヒオキ商會 長電二〇……番

活動寫眞器械 百圓以上五百圓

實物映寫幻燈器械 同家庭用 百四十圓以上 電球使用最も安全
幻燈器械各種
映畫 教育▲衛生▲宗教▲地理 科學▲滑稽▲軍事▲風俗
大阪市新町通二丁目(振替一九三三)
寺田清四郎商店
電話新町(一四三)(一四四番)
博多中島町寺田九州支店電話八七九

ストーフ各種及附屬品
魔法瓶 井中瓶取替
京城府本町三丁目
和洋金物商 佐藤半次郎商店
長電話二四二〇番

時間表
大正七年七月一日改正現行
[illegible]

◎底の知れぬ……ゼアの砂金地

半歳働けば半歳遊べる 汚い胴卷の中から金塊

初夏の六七月には日夜がつゞく 夫が忽ちにして酒ごなり唄ごなる

從軍記者 金谷 眞

『ゼアの流れは砂金の寶庫』これまで十年の間に掘つた金は一年平均約一千八百五十四貫七百匁（四百二十五布度）佐渡のお自慢なごは客臭い日本のはなしで廢い黑龍州は到る處金山ばかりで埋もれてゐる、砂金のゼアは今次の戰ひに又

▽過激派の逼塲

こして有名こなつた今は第十二師團の山田旅團主力が冬營の準備に忙しいゼアの流れはスタノウオイ山脈から源を發し流程三百廿邦里、ゼア市の上流タムブクンスキの採金場から河口ブラゴエまでは殆んご二百邦里を汽艇が通ふ、ブラゴエからは剛艇が四日半下航が二日程、若し黑龍鐵道のツエクダ驛（ウーシャムン驛の次ぎ）から下りて行けば馬車で四日に自動車で三時間、その間は白樺ご落葉松の大密林で金塊をもてば

▽馬賊が附狙ふ は必定なりこいふ

三月のブラゴエ事件にもこの處も馬賊は避難の邦人を待ちうけたが一向其麽樣子が無くてポコペンを喰らつた處である、兎に角ゼアは砂金の本場こして聞た黑龍州での中心地、上流の深い谷間に入る砂金掘りは何れもみな此處に集まつて金をバラ撒く、支那人や朝鮮人の坑夫は半年働いて半歳は遊ぶ位のもので金の値も此處では安い、現に戰爭前は砂金買が此處こブラゴエ間を往來してそれで充分儲けたものであつた坑夫のある者は曾て一封度（四貫三百六十匁）の金塊を掘りあてたこもある、久原も曾て此の方面に著目してブラゴエに本部を置いて居たが戰爭騷ぎに今は引きあげた、今後若し日本人にして此の方面に發展し得るこしたならば到底

▽朝鮮の雲山や 稷山は顔色がなからう

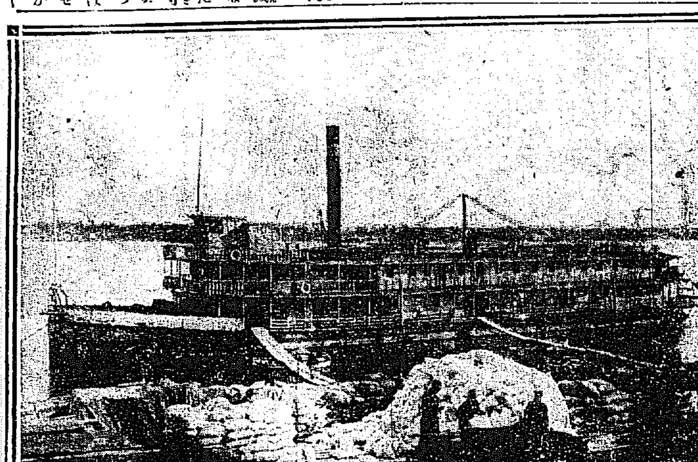
ゼア市はゼア河に沿うた平地の街でごの家も／＼平家建ばかり、ゼア河の水は頃日日に二三寸宛も減水してゐるが十月十五日頃にもなれば厚い堅氷がミざして了ふあたりは白樺や落葉松の林が多く一寸日本のやうな氣持に打たれる初夏の六七月頃には夜の十一時になつて薄ら明りの日がつゞくが頃日は反對に極めて日が短い、街にはゼア河の上流や谷間から續々坑夫が下つて來る而して彼等の汚い／＼胴卷の裡からは

▽燦然なる黄金 の塊がごり出され

それが忽ちにして酒ごなり歌ごなる、ブラゴエや黑河の支那商人がいつも仕入品の行李を空にしてホク／＼もので歸るのも無理からぬこご、ゼア市こそは眞實黄金の街こいふべきであらう、河の流域は以前支那人が多數開拓してゐた、されご彼等は露國の壓迫に追はれて遂は黑龍江の右岸まで引き退くの止むなきに至つた、しかし朝鮮人——殊に露國の歸化民——は盛んに此の邊に土着してゐる

▽鮮人坑夫も亦 一千數百萬人の多數

があつた、』ゼア河の流域は兎に角砂金に富める東部西伯利亞中での砂金地である、從來支那人は露人より受負ひたる鑛區を手掘り式で掘つてゐた、しかも極めて上府の第一層に於て現下の如き採集をつゞけてゐるから若し更に進んで第二層、第三層に下つたならば甚し非常なるものであらう、猶ほゼアの下流セレムヅジエ河の流域はブレーヤ河こ共に砂金に富み且つ銀鑛、亜鉛鑛、白金等もあるこいふ兎に角ゼアの採金區は頑た人目外には眞相が解らぬ、朝鮮の鑛業家諸君も此の際是非ゼアを視察するの要があらう



◇ゼア通ひ汽船……（金谷記者撮影）

▽殘酷しい山の刑罰

灸殺しにされた韃靼人もある

ゼア夫人お繁さんの物語

以前はピストルの音が毎夜雨の樣に降つた、砂金の採集は夏冬こも

此の談はゼア夫人お繁さんの物語、お繁さんは朝鮮滿洲を流れ／＼た江戸ッ子の美人、日本の○○本部に聞ゐた支那○○の妻君である

『妾共のやうな女は北滿洲から西伯利にかけてはだいぶ居ります、浮雲のやうな果敢ない女の身の上ばなしはごうぞお許しを願ひます砂金のゼアには以前妾のやうな女が三四十人男が十人ばかり居りました、皆で五十人の日本人でした商賣は主にお醫者さん、時計屋さん、洗濯屋さんこいつたやうなものでした、妾の主人は毎日妾にゼアで一瓶五十留のスピリット（藥瓶に入つた酒）をのませる事を忘れませんでした、妾はそれを飲んでゼアの幾年かを過ごして來ました、ゼアは砂金の集まる土地で河の流域は一面の

▽砂金に埋 れてゐるこ

いふとです、殆ご露人の鑛主から借たもので坑夫は一定の稅金を納めた上で掘り出します冬は堅氷の上で焚火してそれからボツ／＼掘つて行きますが時には折角支那人の用意した場所を他の露人から奪られて了ふともあります、時には好い場所に掘り當てるこもありました日給にもならぬ駄目な土地もあります、ゼアで働く支那人は百人が百人まで何れも山東の出稼人です、朝鮮人もまた澤山居りそれに土民の韃靼人も居ります。

▽山の罪人 は總て市民の制裁をうけるとになつて居ります、いつかも山に砂金買に行つた露人を殺した韃靼人が捕まつてそれは／＼慘い眼もあてられぬ、灸殺しに合ひました、此の時ばかりは馬賊青ちの妾の友達のお菊さんでさへ見物に來て泣き出しました何時かはまた若い露西亞の妻君が亭主の仇討にピストル殺人をやつたともあります、今は日本軍のおかげで靜かになりましたが以前は毎夜ピストルの音が

▽雨のやう に降りました、妾の此のピストルもブラゴエで買つたブローニングの連發ですこんご妾は過激派の難をのがれて九月の初旬に山を出ました、馬の前後を護衛の馬賊は此のピストルを見て笑ひました『なる程狙ひは利かうが四五渡の彈丸が何になる以前お前の主人なごは玩具のピストルをさげて平氣で俺等をつれて來た、親分の手には飛び道具は不用だ……』こ高笑ひしました、妾の友達のお高さんなごもよく出逢ひがしらにピストルをつきつけて『今日は!!』なごこ挨拶しますい、ゼアは兎に角別天地

▽馬賊の難 は春秋二回の節句前が一番多いこ聞きました砂金の採集は夏でも冬でも河岸でやります、四五日分の掘りためた砂は水でゆするこ金が沈みます、それを集めて露人のカントラの許に折半する約束、大きな金塊は良質のものでありません、せい／＼三匁までのものがよいこ聞きました、ゼアの金でもセリコスクのは特別によいこ云はれて居ります、其處の砂金は三角に尖つて燒いて眞紅な色になります、此の間もある支那人が僅か三時間の間に八十匁掘つて來ました、他の者までがそこを探してゐますけれごなか／＼解らぬこいふことです、ゼアの街は

▽水の良い 土地でビール會社もよいビールを釀ります、妾共は病氣した時よくゼアの藥石を解いて飲みますがそれは奇妙によく利きます、ブラゴエから河蒸汽で五日もかゝるゼアの街、都の方には熊の御親類にでもなつたやうに思はれませうが一度來た者には忘れられぬよい土地こなつて了ひます、現に八度ゼアを去つて九度目にまた引返して來た妾共の仲間もあります……』

◎天長節

こ長谷川總督 奉祝宴見合せ

來る三十一日は天長節祝日に就き同日祝賀次第左の通り決定したり尚本年は時局に鑑み宮中に於かせられても祝宴等の事は一切御仰出で之無きに就き祝賀會は遠慮開催せざる事こなれり

長谷川總督は當日午前九時三十分總督府官邸に於て左記各員の祝賀を受くべし

一總督府並に所屬官署（京城）勅任官▲總督府官房及各部高等官三等以下各總代一名判任官總代一名所屬官署（長官は各自の官署に於て祝賀を受けたる後總督官邸に參集其の旨總督に申報）▲李王職は前項に準ず▲中樞院副議長顧問贊議副贊議▲朝鮮貴族（服裝、服制ありたる者は大禮服又は同相當服然らざる者は燕尾服勳章大綬を帶ぶる事）

以上の外午前十時三十分李王李太王兩殿下李堈公殿下及び午前十一時四十分各國領事館員並に其の他の外國人の祝賀受け附

◇交戰國の 國富こ負債

負債頭は英國 最近大藏省理財局の調査によれば千九百十七年大正六年における主なる交戰國の國富は

米國	一千八百八十億弗
英國	一千三百億弗
獨逸	八百億弗
墺匈國	二百五十億弗
露西亞	四百億弗
佛蘭西	五百億弗
白耳義	九十億弗
伊太利	二百億弗

にして又最近の負債額を擧ぐれば左の如し

英國	二百七十六億三千六百萬弗
佛蘭西	二百二十二億二千七百萬弗
伊太利	六十六億七千二百萬弗
露西亞	二百五十三億八千三百萬弗
米國	七十億五千八百萬弗
獨逸	二百六十四億八百萬弗
墺太利	百卅三億千四百萬弗
匈牙利	五十七億四百萬弗

◎獨逸が 潛航艇を 全部引上る とは事實か

講和問題が熟しかけて居る此頃獨逸は遂に各方面に派遣しつゝ有る潛水艇全部を國內の港灣に引揚げしむるべく既にその召還令を發したミ云ふ情報が傳へられて居る此れに就て海軍省の小林副官は語る『當者には未だ何等潛水艇召還の事に關しての報道は無いが愈々獨軍が陸上で占領地を撤退する事に成るミ、早晩潛水艇の召還も事實ミ成つて現はれなで有らうが、

◇講和問題 が進捗して

◎臺灣澎湖島間 海底電話

通信界の大成功 世界にも前例なき

臺灣、澎湖島間の海底電話は十一月一日より通話開始さる、事こなりしが單線の海底電線を電話に利用せるは我國は勿論世界に於ても未だ前例を見ざる通話界の大成功なり（東京特電）

◇他の情報 では、獨逸は兎に白耳義の海岸地の一部から撤退したこいふ、併し今暫くしなければ輕々にそれ等の事を信ずる譯に行かぬ（東京）

今の所一寸判斷の仕樣がない、獨逸の派遣して居る潛水艇の數も現に不明で有る察するに此情報は中立國側で獨逸の心中を臆測して傳へた物ではなからうか或

◎生活難から 來た犯罪

著しく增加 鍾路署丈けで二千件

歐洲戰亂勃發以來トン／＼拍子に騰上つた諸物價は一昨年より本年にかけて一層著しく加ふるに米價は朝鮮あつて以來甞て見た事のない上り樣だつたので從つて生活難より來る犯罪件數も多く鍾路署に於て取扱つた犯罪丈けでも本年一月から七月迄に於て二千二百七十三件之を昨年同期に比して見るミ二百八十九件の增加を示して居る中にも著しく增したのが

名稱	昨年一月より七月迄	本年同	增
拾得	一三	二四	一一
窃盜	一二九八	一五二〇	二二八

り一こ稱揚したりこ

◎油斷の出來ぬ 戰後の獨逸!!

智を盡して廢物を悉く利用 經濟戰の準備は一日も怠らぬ

近く來るべき平和こ同時に經濟上の開戰こなるが獨逸は聯合諸國に取つて實に油斷のならぬ大敵であるこて某消息通は語る『獨逸は開戰以來食料品及び工業原料品の輸入が杜絕した結果有らゆる

◆廢物屑物 の保存こ利用に努力するこ共に窮餘の研究に出でた各種の新工夫こ發明が非常に多い、即ち珈琲屑、馬鈴薯屑、莖屑などを保存させて貴重な家畜の飼料こし食後の喰ひ殘しも粗末にするものは罰し、紙屑、瓦斯管滓、護謨屑、婦人の髮屑なごを再製原料こする外木實

◆赤茄子の 種子なごも二割乃至二割四分の油分があるので之れを搾油の原料にする等從來看過した一切の廢物や屑物を利用するこ共に木や織物を皮革の代用こして製靴用に供し、織物の原料

◆木で衣服 を織る事を發見して蒲團の上皮、襯衣類、ネクタイ、外套の心、仕事服、前掛等の製品を見るに至り今や洗濯にも堪へる樣になり紙製織物及び其製品の總取引高も既に十億馬克の巨額に達して居る此獨逸の新工業たる木質纖維に依る織物製造の發達は戰後に於ける

◆紡績業に 多大の影響を與へる事を覺悟せねばならぬ又石灰から酒精を製造する事を發明し、石鹼代用品こして或種の植物質を發見し、ホップを以て煙草代用品たらしめたる發見等列擧すれば其研究の發達には

◆全く驚く の外は無い化學工業上の發明も同樣で平素屢工業進の經濟政策を勵行し國民

戰後に於ける

◎大阪福島氏 の義俠によりて再興せし 昭義學校の 新築落成式

蓬萊町の私立昭義學校は從來同町居住鮮人の經營に係り維持困難に陷り廢校の悲境に陷りしを適々商用にて來京せる大阪の藥種貿易商

▲福島福之助 氏は同じく鍾路の藥種商なる閔樞氏等より同校が將に廢校こならんこするを聞き之を惜みて義俠心を起し爾來同校を引受け維持費を支出し又同校舍の新築費に對し一萬餘圓を投じて工事を起し此頃漸く落成せしを以て去る十九日盛大なる落成式を舉行せるが當日の來賓こしては松永道長官關口學務局長兪京畿道參與官金谷府尹を始め文武の高官數十人李完用伯其他の貴族數氏及教育家實業家等

▲數百名參列 閔校長開式を告げ次いで君が代の樂を奏して開會の辭を以て開式したり福島氏長の式辭沿革の報告ありし之に對し關屋局長の祝辭設立者福島氏の祝辭を以て閉式したり右落成式に就き關屋局長は述べたる祝辭の內に同氏の事業は大谷男爵の善隣商業學校中村精一郎氏の公共的事業こ並び稱すべき美事な

◎流行感冒

益す猖獗 學校生徒に 罹病者多し

流行性感冒は愈猖獗を極め京城全市は無論今や仁川、大邱、平壤其他可成戶數を有する箇所は殆んご襲はれざる所なきに至れり其後に於ける京城の患者は警官練習所の生徒七十五名、鍾路署の半數殊に甚だしきは大和町一丁目附近にして二千餘軒全部之に冒され居れり尚ほ本月十二日及び二十一日の各小學校

▲患者數を 示せば實に左表の如く其猖獗力の如何に速かを想像する事を得べし

小學校	十二日 患者	廿一日 患者
鍾路	五一	二二三
西大門	四六	一九六
南大門	七三	二四一
東大門	三〇	九五
日の出	七三	三一一
元町	二九	二四五

前して鮮人側普通學校兒童に在りても漸次流行の兆を示し十二日ミ二十一日に於ける病者數を比較すれば二十一日の患者數は十二日患者數の五倍乃至

▲七八倍に も達し龍山元町小學校より二十二日の報告に據れば同校に於ける患者數は最も甚だしきもの、如く出席者及び缺席者相半ばする慘狀を呈せり即ち同校各學年合計出席者數の四百八十二名に對し缺席者數四百十八名の多數を示し尙ほ急激なる增加の傾向ありこ

▲學校當局 にても之れが豫防、傳染防遏方法に關しては種々調査中なるが一般家庭に於ても嚴重の注意を拂はれたき旨希望し居れり

の流行感冒に罹る者多く日々變ゆして二十二日には高等女學校生徒總數百四十五名中八十一名の罹病缺席者を出し出席者中にも尙ほ二十一名の患者あり尙ほ蔓延の兆あるを以て二十二日以降臨時休校をなせり其他商業專修學校に於ては三十八名の患者あり高等小學校は一千六百名の生徒中約二百名の罹病缺席者を出だし市中各戶に就て見るも夥しき患者數に達し一家族六名悉く感冒に罹りて臥床せなもあり

▼熱は高いが 質が好い

今は三合目か まだ死亡者はない

右に就き市內村上醫師の談によれば今回の感冒は非常な流行で一日平均十軒の患者が增わつゝある而も一軒にて九名同病に罹つて居る家もあつて慘狀を呈して居るが今回の感冒は極めて質がよい方である然し熱は高いが餘病を發する樣な事がない從つて未だ死亡者一人をも出さない此狀態から察して見るこ此感冒は今が三合目位でまだ／＼猖獗を極め容易に下火にはなるまい

▼仁川も猖獗 學校を襲ふ

仁川に於ける各學校は數日來生徒

◎仁川船渠竣工 記念スタンプ

二十七日仁川局で押捺 仁川船渠竣工記念の爲仁川郵便局にては來る廿七日記念スタンプを押捺する由なるが當日は主こして第二種郵便物に押捺すべしこ尚ほ該スタンプ希望者は使用可日經過後こ雖も三日以內に郵便物以外の物件に一錢五厘以上の郵便切手を貼附し郵便局に差出せば期間中に記念スタンプの押捺を受くる事を得べしこ

◎養父殺し判決

二十六日言渡し

開城の養父殺し貝江弘に對する殺人事件公判結了し來る廿六日判決を言渡すべしこ

◎中村氏葬儀

故辯護士中村時章氏の葬儀は二十一日午後四時曹溪寺に於て嚴肅に執行されたるが辯護士一同各法院判檢事總督府及所屬官廳李王職官吏等官民百五十名餘の參列あり盛儀なりき

◎汽船漁船を覆す

廿日午後六時二十分頃釜山濁黑巖附近に朝鮮人草梁住居者一家族五名が漁船にて魚釣に從漁中折しも釜山を出港堺港に向はんこせる玄洋丸二百噸が突然衝突し轉覆したる爲め五名中三名溺死し二名は辛うじて救助されたるが玄洋丸が頻りに鳴笛したるに周章へたる結果遂に轉覆したるものにして目下本署にては捜索中なりこ

◎商業實修生の行商

游鮮修學旅行中の京都市立商業實修學校生徒六十名は當地三泊の豫定を以て廿四日夜入京滯在中は同校が監督の下に本物手台の各國にて精製せしめたる宇治茶を極めて薄利にて行商する由

◎稅關監吏募集

仁川稅關に於ては今回數名の欠員を生ぜるを以て稅關監吏の募集を爲すべく中學卒業の學歷ある者は[illegible]に採用せらるべしと希望者は履歷書携帶仁川稅關に出頭すべしこ

◎大邱に來る 飛行隊

飛行隊の先發員こして支配人阿部[illegible]藏氏は今明日中に著邱し直ちに飛行に關する一切の準備を整ふる[illegible]七八日頃著邱すべく伊藤氏は[illegible]日間飛行の後內地に還り後は同氏の高弟たる山縣氏代つて毎日飛行[illegible]

[illegible]三萬七千圓なるが週末の發行高は八千四百四十萬五千圓を示したり

◎自轉車横領 大和町

[illegible]の自轉車を横領して元町若狹屋に十五圓にて入質しなほ十九日には大和町松尾又吉の自轉車を同樣[illegible]

仁川期米

二十二日後場 大阪前引止め三十四圓三十九錢の入電にて當地は中限出來不申先二[illegible]

△先限二節二十七圓十八錢九錢二十錢二錢一錢二錢三錢二錢三錢四錢五錢六錢八錢三十錢二十七錢八錢七錢八錢七錢六錢二節二十七錢[illegible]

二十二日の十二月限

寄付	二十七圓四十八錢
後止め	二十七圓三十一錢
高値	二十七圓[illegible]
安値	二十七圓十八錢

天氣

一晴

（廿二日午後六時より廿三日午後六時迄）

演藝案內

△探偵活劇 不思議の鐵輪 ▲正活劇『黑き雨』全五卷

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話（略）

十月十八日より特選三大映畫

◎正活劇『黑き雨』……

◎連續大活劇『灰色の幽靈』第五篇 七十七卷中八篇 全通し 代辯士喜劇『住吉まいり』

黃金館 天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店 電話（晝間）二三六六（夜間）二六二七

十月二十日より四日間限り特別大興行 米國ユ社 ブルーバード特作映畫 劇『人形の家』全一萬呎 ◇ノラ…ドロシー、フイリップス孃 △トルヴアルト、ヘルマー…サイリアム、ストーツエル氏 △ニルス、ロツスタツト…ロン、チヤニー氏 △リンデン夫人…ミリアム、シエルビー孃 △醫師ランク…シドニー、ディーン氏 △アンナ…ヘレン、ライト孃

◎人情活劇『幽靈船』全四卷 天城 说明

◎本興行中從來の招待券御ことわり 觀覽料 一等六十錢二等四十錢三等二十錢軍人學生各半額

大正館 櫻井町 電話八七三 十月十八日より新番組 米國キーストン會社 アンブローズ渴望 ◎探偵活劇 慧眼 全一卷 『海野兄弟』全四卷

浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 ダイヤモンド一行浪花節 二十二日より

麻病 日本一唯 眞空機械療法 無代 新療法研究所

たんせき 最新の良劑 セキドミン 底胃良劑 弘濟藥院

御會葬御禮 中村 彰

富の道しるべ

白色淨血劑 ベーリン にきび そばかす

東京上野櫻木町 發賣元 博仁

○伊藤氏外四名 共進會開期中大邱に於ける飛行機飛行の事は屢報したるが右[illegible]郎山縣彦三郎氏事務員島岡熊三郎職工古島和三郎の四氏は來る二十[illegible]

○鮮銀券發行高 [illegible]三日より十九日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は八千二百八十八[illegible]

○[illegible]大正六年中自働車[illegible]横領にて起訴中止中のものなるが其筋性懸もなく去る十七日眞木方[illegible]色に耽りるたるを大邱警察署に引致され目下嚴重取調中

仁川米豆取引

[illegible]らず二十九錢と一歩下押し三十錢[illegible]と強硬の成行きを示して改會せり △當限出來不申

氣象報

[illegible]

○誤解されたチタ
西伯利唯一の風光明媚
山は赤松に蔽はれ藍を湛へるインゴタの流れ

チタ市に關して辯護して置きたいのは、今迄チタと云へば支那人露國人の無頼漢の巣窟で殺人強盗は屢次敢行され血腥い事の絶間無い頗る殺風景な危險千萬な市街である樣に世間に傳へられてゐたがこれは頗る誤られた紹介である事を極力主張したいのである。チタ市が想像に反して將來非常な有望な場所であるばかりでなく、一歩退いて此の市及び市街附近を

▲審美上から觀察 しても中々捨難い風景に富んでゐて遊子の心を慰めるものが頗る多いのである。西伯利と云へば囚人の流謫地として四方際限無く打續く荒寥たる曠野の樣を思ひ浮かべるであらうが、併し何處もがさうであるとは限らない、春になれば野には美しい樣々の花も咲けば、藍色の川の流れが白樺の林の傍を走つたり、赤松の林の中を拔けたりなどして捨難い風致を、到る處の西伯利の大地に現出するのである。チタなども

▲美しい市街の一つ であつて、風光明媚な地とは實に此のチタなどを指して云ふのであらう。一體、チタの市街はインゴタと呼ぶ藍を湛へた綺な清い流れを前にして、夫から後方へ緩やかな傾斜を以て次第に爪先上りになり最後に柔かい線を描いて左右に蜒こ延びた峯續きになつてゐるが其の緩やかな大傾斜中に此のチタの市街が建設されてゐるのであるさうして附近の山と云ふ山は皆赤松を以て蔽はれてゐる故其の

▲風景の絶佳なる 事は到底筆舌の及ぶ處ではない。されば此の明媚な風光を慕つて遠く歐露の地から、平和時代には、多數の避暑客が杖をひいて涼しい一夏を此處で過ごすのであつた。故にチタ市からインゴダ河を隔てた對岸の松林の中には百數十軒からの別莊が建てられてあるのである これを以て見ても如何に歐露の外人に愛されてゐるか、想像される事だ。地は風光明媚であるばかりでなく、山には鳥類が群をなし日本内地にゐて夏の暑熱に苦しむ者はよろしく此の地に別莊を建てインゴタの流れには魚類滿ちて吾々の漁りを待つてゐるのである（哈爾賓）

○鞍山製鐵
今から陸續註文

△組織を識らずに內地の鐵商 滿鐵經營の鞍山製鐵は本月一日を以て火入式を擧行すべき手順なりしも海外に註文せし機械の不着諸材料の騰貴水害に據る敷地の關係等によりて遂に就業延期の已むなき場合となり早くも本年末遲くも來春三月迄には製鐵業の開始を見る筈にして一晝夜二基四百噸一箇年十五萬噸の銑鐵を製出し當分は古鐵を幾分買入れたる上（メリ減の分）年額十五萬噸の製鐵となし滿鐵自家用の諸機械製造に使用し追うては軌條、水道鐵管にも製出すべき豫定にして假令鞍山製鐵にして日々銑鐵の姿を見るを得べきこと雖も近き將來に於ては一般公衆に對して公賣及び拂下げ等の事は之なきが如きも是が事實を知らざる東京、大阪、名古屋附近の鐵物商にして八幡製鐵所の如く一般競賣すべきものと合點し他の運動せざる間に突込みて大に獨り儲けべきものと心懸けてか近來鞍山製鐵事務所に宛書面を頻りに提出するもの有りと言へるが當事者は之れが回答處分に大なる迷惑を感じ居る有樣なりといひ居れり（鞍山）

○東三山東鑛山

礦業界の發展は即ち國利增進の精助となりとし日支官民共之が搜査に盡瘁するもの尠からざる結果發見せられたるものも亦甚だ多く中央農商部に對し採掘許可を請願せるもの莫大の數なりと云ふ然りと雖も農商部は此等出願に對し相當の調査及び研究を要するを以て直ちに許可を與ふる事能はず本年九月中に既に請願中なりしもの各種礦山を通じ採掘を許可されたるもの支那全土中總計三十六箇處にして其中東三省及び山東省内にあるもの左の十四礦區なり

一、奉天盖平縣徐家屯の苦土礦九月三日高澤成に許可
二、奉天海城縣南大窒老爺の苦土礦九月十六日王成立に許可
三、奉天西安縣孟河亮の石炭礦九月十一日梁恒德に許可
四、奉天海城縣樂梨溝の石炭溝九月二十三日楊福源に許可
五、奉天鐵嶺縣家大溝の砂金礦九月二十日于王楷に許可
六、奉天西安縣孟河亮の石炭礦二十八日戚國棟に許可
七、奉天興城縣富兒溝の石炭礦二十八日王炳[illegible]に許可
八、吉林密山縣小黃泥河北山地方石炭礦九月五日孟大彰に許可
九、吉林樺甸縣漂河郡二哈達の銀鉛礦九月五日邱塩章に許可
十、吉林伊通縣四垂匠屯煤山の石炭礦九月二十八日孟慶延に許可
十一、山東掖山縣秋滿地方の石炭礦九月七日鑛汝能に許可
十二、山東平慶縣南宇莊の鉛礦九月十六日金廷璽に許可
十三、山東淄川縣黃家莊の石炭礦九月十六日朱雲梯に許可
十四、山東淄川縣龍家鳩章邱石炭礦九月二十八日毛德容に許可

○奉天と紙幣

◆將來は何うなるか◆ 銀塊相場の變動と京鈔暴落の影響を受け又一方吉黑及び長春紙幣の萬面流通禁止の打擊を受け一時百圓臺を破つて暴落せん氣配を示した奉天紙幣も最低安值九十八圓餘に達して喰ひ止め再び九十六圓五圓四圓と持返し頓かに暴落しようとも見ゑない

◆時大恐慌 を惹起すように見ゑた奉天經濟界も茲に暫く小康を見るに至つた、其の相場を持返した原因に就いて經濟通の談に依れば一時方面流通を絶對に禁止されしこした中國交通兩銀行紙幣も到底僅の日限で回收し盡す事は不可能である日本側と雖も短日時に於て精査する事困難なるを以て之れが抗議を申込み又支那側一般ちに俄に

◆壓制的回收 を敢行したならば市場の紊亂を醸す事明瞭なるを悟り當局も幾分手加減を緩うしようとする形勢があると一方特產出廻り期に迫つて居る事とて銀紙の需用多く又財政當局が

◆苦心慘憺 施策して來た鈔上策を水泡に歸せしむるであるから其間更に策を施し以て漸く小康を保つに至つた樣である若し奸商があつて此機を惡用して何事か企てる者が出てさへ來なければ小康のまゝ押し行くであらうと觀測つゝある者が多い（奉天）

○牧畜業擴張

◇支那人實業家の覺醒◇ 奉天省議會副議長百永貞氏は專ら利權開拓に意を用ひ之れが調査を怠らざるものありしが曾て省議會開會の際提議して云はく奉天省の現狀は牧畜事業の開拓する要あり如何となれば支那各地に於ける畜産は近頃世人の注意を惹き其の產額の如きも漸次增加しつゝありと雖も之が需用は諸外國人の使用に供給するに止り毫も支那自國の用を爲すもの非ず之れ甚だ遺憾に思ふ所以なり現在各軍隊に要する軍衣軍裝の如き總て羅紗を外國より求めて需用に充たしつゝある有樣なればその原料の騰貴と共に莫大なる費用を要し甚だ不利たる事言語に絶せり若し官費に依らざる會社組織の機關を作り民間有志の資本を集め牧畜業の發達を圖らば國利國益を增進すべき一策ともなり得べし直ちに莫大なる資本を醵出し以て大會社を設立する事は目下の財政状態として甚だ困難なるべきも逐次發展を期せば敢て難事にもあらず此案に關しては議員中已に贊同を表するもの尠からず贊意を表せざるものと雖も實業の振興は國家の基礎てふ事か悟り居るを以て甚だ價値ある提議となし已に賛興を談るべく財政廳其他要路に於て精査をなすべき筈に決定せりと

○日支倶樂部

奉天有志間には近頃日支親善の實現を望むもの頗る多く支那側と雖も一部有識者間には滿蒙の開發は一に日本の資力に俟たざるべからざるを知り機會を見出し成るべく日本人に接せん事を望む者あるに鑑み此機を利用し常に排日的氣分を抱ける支那高官連を引付け以て其の頑迷なる思想を打破し日支親善を圖る爲に日支兩用の機關として半公會堂式倶樂部を建設し下階は活動寫眞館となし二階は支那人の娛樂場と定め三階日本人用倶樂部となすべく建築費用五萬圓をば日支有志より醵金する事に決定し之を赤塚奉天總領事に圖りし處大いに贊同を得たるを以て直ちに之を支那側交涉處長に相談したる結果奉天大西門裡松鶴所の向ふ側に二百坪以上の地所を提供すべき事となり來年早々建築に着手する筈なりと云ふ若し同倶樂部完成し日支官民相會する機會を多からしめば之に依つて以て從來疏隔に失せる意志の疏通を見互に諒解する處あるべく斯して親善の實を擧げ將來滿蒙開發に資する所尠からざるべし今の所謂だ規模小なるの感なき能はざるも此種の企圖は必ず日支民衆に歡迎され徐々好果を擧すべき導火線となり蓋し大成に資する事甚大なるや必せり

○仁川祝賀會
愈々二十七日擧行す
異彩を放つ美名登踊

仁川拍子の腕を揮ふ—華やかな總出の舞臺

來る廿七日擧行の築港落成祝賀會に於ける餘興の數々は其係りに於て趣向を凝らし秋の紅葉に色增して更に裝ひを凝らす華やかさを見るべく先づ舞臺物としての出しものが定められた此の外に市中各町からも思ひ〳〵の趣向を凝らして其日を華と飾りたいとの希望もあると聞くがそれ等は未だ決定とは至つてゐない委員會の方には

◇出來るだけ 盛大に擧行したいとの考へであるから若し民間市中の催しを目論見む連中があらば遠慮なく商業會議所迄申越されたいとの事である斯くて萬般の事を統一的に餘興係りで取扱つて會場の園遊會場で演るものとの他の埋立地で演るものとか或は市中の景氣添へ等それ〴〵然るべく取り計らふ事になつて居る舞臺物の餘興もある事に決定して居るが其他各町の催しは又別に珍奇な趣向が幾らもあるらしい何れ會議所の方へも報告を俟つて

◇決定的に 發表する事にしやう當日園遊會場と定められた閘門南側の埋立地は約一萬餘坪の演場には其周圍に二十軒の模擬店を設けて南側樂場即ち澁澤貿易荷揚場を迂回して正門の大緑門を建造する其入口の正門を這入ると左側には華雛く裝飾萬端遺憾なき十間の本舞臺が造られてある之れに其の日の餘興を演ずるのが仁川名代の藝者衆である先づ宴會場が開くと一番に出すのが羽衣舞役割を示すと

◇船人は銀水 の政彌が務め天女を八阪の鯉丸が演る何れを見ても一つは手捌き鮮かに一つは娩婉花の如く二人の演舞は『仁川港』の謠曲譜に伴れて最も趣く悠眺に舞ひ納める趣向である中として能狂言が入る事になつて居るが之は京城から來る衣裳の都合があるから或ひは出來ないかも知れぬ今の處未定として置く切に到つては最も華やかに藝ヶ榮ねを見ずる趣向で新作『美名登踊』を出す茲に總數の八名が揃の友染衣裝を躍して

◇袂も輕く 賑やかに舞ひ納むるのであるが之が役割と云ふ顔振れを出すと舞には鱗棲小千代政勇銀水花香榮亭の榮丸春本の小花淺岡のメ松八阪の吉北三齋の勇と云ふ一粒選の大車輪歌には立て榮亭政助八坂美代次歌子の三人三味線鱗お多美の立で八坂お京淺岡の濱次と云ふ之は腕のあるだけ謠い姿さん連中である

◇太鼓及び 大皷が榮亭の政六吉彌小皷三福の小福榮亭小政と云ふ顔揃之等が大車輪となつて舞子は四名揃の友染衣裳で華やかに舞ふのであるから折角秋の紅い日射を受けて一段の榮ねが見ゆるだらう當日新作の歌は惡ふいふのである

◇港の榮え

『足曳のやまと嶋根は廣ごりて、出で入る艦船の帆檣の、數も林と立ちまさらむ』

『澄み渡る天空に……殘鏈く黑輝も、太きふねのかずく集ひ來る、其繁昌を湧き嘜す、節面白き舟歌や、波の皷に艪拍子の、音響も豐な大君が、御代の榮ねを祝ぎ合ふ、海と陸との設備さへ、茲に名は成り閘門も、自由自在に開閉に、男波女波の笑み囁きて、引く手指す手の潮あひは、睦まじき妹脊中』

『千早振る、海神の惠みに萬代かけて、ねがいを奏づ神樂歌、その鈴なりの枝柿も、たちまち熟れて赤々と、光陰のたつは早いもの、恰度こしで八年目、開が計畫の實現に、恙なきさの深みどり』

—是よりちらし—

『見渡せば、柳櫻のそれならで、紅葉照てる満艦飾、波良に漂ふ景色こそ、是ぞ總世の店飾、その色彩のいろ〳〵に、潮の花香も港へ寄る、港萬歳萬々歳と晴れの日和の華楽も、今や完成の時機を得て、ホンニ芽出度き此時を、調子揃へて謳ひつゝ、祝ふて爰に舞ひ納む』

※北漢山登（二）
赤鶴生（投）

雲霧晴れて鮮かに遠近の眺め一目に集まり京城市街の一部は手に取る如く南山の蒼色脚下にあり遠望すれば南陽の濱は一帶雲に入る更に下を覗けば峻崖の底も微かなるこそ恐ろし目を瞑れば五臓も動く心地し蕗の脚下を飛びかけるを見れば我身も空中に浮ぶかと疑はれ足の裏ひや〳〵と戰ねて強くも得踏まず

や、經て何處よりか四五人の鮮人現はれ來り携へたる藥水、藥酒を備へ蠟燭を點じ線香を燻べ鐘鼓を器に盛て盤石の上に配列し牛肉を打鳴らし五十路を越したる白髮交りの老婦誠意を込めて合掌九拜岳神を祭るを見るこれ一家の冥福を祈るものとこそ知られけれ我等一行絶頂を下りし頂は鍾皷の響一層山岳に呼應して耳にこゞろけれ頂上にて解散し各思ひ〳〵の路を辿りて歸途に就く

夕日斜なるに牛耳里の道洗寺に到る御堂は餘り古からざれども七階の石塔ありこはや、古く見ゆ、そこに大きなる松の間に數株の楓立てり燃立たんばかりに今を盛りと色染めて麗はし恐らく近郊に類ひ珍らしからん御堂の傍に一大巨石ありその一面には立佛の像を刻まれ今も祈願に詣づる里人の爲めに生僧の讀經の聲ぞ初めける祈願の心を押しはかりていと床しく日は暮て道遠し脚の疲れはや、身にこたへ杖を持みて我家にといそぎ立ち歸りぬ

一行は多く初登山者なりしも一人の落伍者なくいづれも大いに英氣を養ひ得て前途の活動に資する所甚し少からざるべし當時物されたる文士の雅懷を左に紹介しぬ（再耳識す）

◎馬上過成　義夫
折々〳〵はしむる手綱もゆるべずば駒の勞れをいかで休めん

◎西小門邊新懇　穗豊なるを
新羽りの小田も黄金の波よせて豐かに稔る御代の秋哉

◎農家有古風
古のみ國の振りはさ見ゐておこらぬ腰乃龍そゆかし哉

◎岩間蟲
來て見れば叩く人もなき岩かげに面白ろく虫ぞ鳴くなる

◎山路菊
狹霧立川山路はろ〴〵たどり來てかをりゐならぬ菊を見るかな

◎紅葉盛
腰が男のかまにもいれし奥山の岩間の紅葉今盛りなり

◎大古寺の集合に遲刻
ちか道さ聞て來つるたまわり坂うき世の常もかくやあらむ

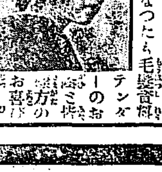
◎内門を過ぎて
築きあげし古城も今はすゞしき虫こり外に訪ふ人もなし

◎白雲臺上の我
峰に立ちし已れより高きものもなし身は白に半かくれて

◎白雲臺上より京城を眺めて
打渡す世わたり業のかけあふく高圓都や里の立つらん

かぜねつに　一番よくきく　キナピリン
特効　感冒・熱病・頭痛・インフルエンザ・リウマチス・間歇熱（マラリヤ）等に大効あり
價　十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓
大阪市室島元
本舖　高橋盛大堂藥局

◎電話開通　七一五番
各種土管並陶器類
京城太平通貳丁目　山本商店　主任　山中一

▲美人間の大評判
くせ毛縮毛直し　ぬけ毛を止る
コンナだい毛になつたら毛髮資料テンダ一のお喜び

容の第一は毛髮の美であります毛髮の衛生を知らぬ方は今でも幾多の縮れ毛を時々熱き湯にて採直す樣で有升が夫は毛の爲に甚だ害である近頃三都美人の大評判を博せる、テンダーは藤本學士の實驗せらる、最新式の高等くせ直しにして湯にて採直す世話いらず、ごんなくせ毛縮れ毛にても少しも毛質を害せず美事に直し其上艶を出し、素性よきふさ〳〵とした美毛となる事請合又惡臭を去り（ぬけ毛）（ふけ）（かゆみ）を止める事奇妙なり髮が惡く御心配の御方は彼是迷はず今直試用へ◎定價一圓。五十錢三十錢十五錢（送料內地八錢）
發賣元　東京銀座四丁目　中南定太郎
大賣　振替大阪三ノ三四　中南定太郎
信用ある各地化粧品店藥店に有る

健康の光明に導く
七大醫學博士の賞讃と証明を有する
美味滋養の葡萄酒　赤玉ポートワイン
惡疫にかゝらぬ用心には
朝夕一杯は百藥に優る葡萄酒
赤玉ポートワインを召上ろにあり

スワン萬年ペン
宮内省御用品の眞價は既に社會に定評あり俤々名稱を附したる類似詐偽品多し本品の軸部には「Swan」の英字刻印捺押せり
到所の文具店に目下[illegible]

早くお使ひ遊ばせ
一度召上つたら忘れられぬ
美味しいお料理がスグ出來る
文明的調味料
味の素
味の素は小麥の蛋白質を原料として精製せる純白無臭の粉末で容易く湯や水に溶けるを以て頗る重寶の調味料です。其美味と滋養の點は一度お試しの方は御存じになります是非お使ひ下さい

商況

東京株式打電
廿一日後場引値
東株 一七三、九〇
同新 一四一、九〇
鐘紡 九八、一〇
新紡 七七、五〇
北拓 一八九、〇〇

東京期米特電
廿一日後場 三十三圓五十錢
止め 六十九錢 七十錢

兵庫期米特電
二十一日後場 三十四圓〆五錢
廿二日前場 三十四圓丁度

大阪株式特電
二十一日後場
宇治川水、京阪電鐵、東洋紡織、合同紡織、鐘淵紡績、同上新株、東洋製糖、大阪商船、同上新株、郵船株、同上新株、堂島米穀、東京株式、大阪株式、同上新株

大阪三品特電
二十二日前場
十月限 三九九、〇〇
十一月限
十二月限
一月限
二月限 三六六、一〇

大阪期米特電
廿一日後場 寄付 三四、一三　高値 三四、二六　止め 三四、二五
廿二日前場 寄付 三十四圓三十錢

下關期米特電
廿一日後場 寄付・高値・安値・止め

雜報

●三品一高一低 戰局の變轉如何に付氣迷ひ居れる昨今丈けに三品市場の成行きも又之に連れ一高一低の浮動を免かれず市中の動きも少なきは是等双方警戒的觀望氣分の大阪入報は期限四百一圓十錢先限三百六十九圓九十錢より今前場は當限三百九十九圓先限三百六十六圓十錢の變化なり

●小安 三銘十二圓五十錢 常限四百攔みの小高下に相場は昨午後より稍重し

●細布依然氣丈 細布は其依然として入荷少なく殊に細布三エー票は未だ九月限の物さへ殆ど到着せざる始末にて市中在荷の拂底より內地相場に追隨し依然保持の姿にて現物は過般來

●十四五圓を手堅く維持 して今尚反動を喚起せざるもの四百三

●正米ボンヤリ 方下落を告げ五七十錢 何れも商値に當らず一反に付き五七十錢見當を唱へられて細布十九圓七十錢內外 內米は稀に出るとして輸送の氣迷ひあり

●牛皮は强調 牛皮は秋皮の出廻り漸く増加し始めたるが永登浦皮革會社の買観あると鮮商側の先高見越しに氣配強く此處中皮七十三四錢

●小皮と正味の八十三圓見當 の買しく現今の大阪相場以上に氣配居れる移出口は相變らず不引合ひなるもへて割安狙ひの外殆ど見送り狀態なり

●燐寸は品薄 燐寸は入荷杜絶し居り品薄く且つ內地市場は益々堅調を報じ最近の引合 仁川沖 著の黄燐七十圓處にて市中にては五圓前後を唱へられ手持筋は頗る强腰なり

●內地雜鐵市況 自物は先高を見越して買付品相當にありしため季節に入りても更に捗々しき取引行はれず殊に鑄物鉄は人氣盆々不味に傾き鐵西筋は年內にも辦件の來る可きを唱へて投物の現るゝあり東西兩市場を通じ引續き大氣迷ひの姿

●亞鉛 亞鉛板は一時大阪市場に於て漸く世六圓迄下落せしも東京の標準品は依然四十圓維持の姿へ錫 しては軍需品の為め買方と見るも前一段の安值は免れざる傾向 鉛 一時を一時せしエナ、ビー現物二十九圓見當の安値なるを呼び更に二十二圓の擂みを現はし戾しも 安質母尼 は全く品薄にて五六圓見當も申込まれんとする弱氣勢なり

●洋釘强し 洋釘は既報の如く大阪の細物の商移りあり、し高値の節にありても手持筋は其後依然持合狀態を維持しつゝあるが特に上等品の安値なるを以て持品の減退に連れ漸次氣强き成行きにて早晚內地相場に接近せん模様なり

●砂糖更に昂騰 砂糖は會社側今尚賣止め懈除へ漸ぶり等の處へ大体が輸送捗らざる所の 切減少 を告げ作日頭より 市中在荷減 せり唱へは 精糖十六 圓爪哇白 双十五 圓以上 となり精糖の如きは十五圓八十錢見當にて先物買の行はるゝもの少なからず今後入荷の如何によりては尚一押しに達すべし 步調の健實 なる今回は 急激の反動なかるべし と云ふ頗る强硬の市況を呈せり

●京城發送穀物 本月一日より十五日迄に於る南大門驛發送穀類は米一千三噸 大麥十噸大豆二百八十九噸粟七噸碎米十四噸雜穀八噸總四十一噸なるが 仁川仕向の八 百四噸 山口行き四噸其他鮮內各地方へ八十四噸下關五噸其他鮮內にて元山分は內地移出向の白米のみなり

●仁川手筋買 相場は此處に下足を生じ市況 ●軟味の裡に持合 せる か商內薄き昨今新穀の出廻りに何さなくボンヤリの氣味あり

●千瓢更に强硬 他の保存上懸念なき季節に向ひたるより市場の手堅みと一面需要の增加と共に將來大に筋の買進みさ結果野菜上の高値に依り東京二十四圓見當まで上進を示したる昨今は一時休止の姿にて當る者は昨今の一等二十三圓五十錢見當にて迄し、各荷主筋も相當の利を得たる處あり而して市場は品薄の為め相場は原料高の為め手持者は强腰にて敢て賣急がず

京城正米市場
物は品薄にて何れの商人も高値を唱へ居れど買方は氣配に逐はれて成行き何とも一般に賣物僅少にて昂騰に至れり

南大門廻穀
此穀日來引續き賣入一齊買控へ方針にて氣迷ひの姿ありて合ひ抜けの氣分あり爲めに市況

●商內薄ボンヤリ にて持合ひの裡に少しく買氣を生じ大豆は三十二圓七十錢を唱へ底三十五圓内外

仁川正米
仁川白米三〇仄餅店玄米二七仄 仁川碎米四〇仄鮮玄米白四五仄 平壤白五米七八仄島致際籾二仄 水原白米三〇仄水原白米六五仄 水原小豆五仄

▲粗の入津は日々增加しつゝあり正米は粗の入津多きさ高値買見送りにて氣配更に安人氣を唱へ居るも商賈捗々敷からず市場無活氣なり

釜山米穀物市場 廿一日
▲玄米(强別合) 一兩日來氣配不況にして崩落を呈せる當地市況は今朝市場に於いても日頃滿腹なりし精米必需筋も步々腹捕充買ひを爲すに至れると內地移出筋も上値は買観きたる氣配は好況に傾き底値頃と手堅く保合ひの商狀にて金泉在來種三等三十四圓四十錢島致院產上十五圓五十錢見當にて出來し新古米を合せて二千五百叺內外の商內行はれたり
▲新玄米(二十錢高) 本品も古米同様賣望み現はれ氣配引立ち一兩日來の崩落の反動的相場を呈し前報に比し二十錢高にて取引行はれたり
新大豆(好況) 何分出廻り期のことゝて賣り物潤澤にして相場は常に不引立ちの商狀なるが今朝市場に於いては今明日の船積みの積出し補充買ひの進取ありて氣配も好況にて別項出來値の通りにて相當の商内ありたり

大五仲買店
仁川米豆取引所仲買人 店主 豬飼政太郎 電話長三〇九番 自宅二〇一三番

各地商況
○大邱米況(二十一日) ▲玄米(廿日五十錢安廿一日弱保合) 正米は前々日一氣に一圓方の暴落を告げたる機先昨日は弱氣筋の賣物續出の為め更に五十錢方の奔落を演じ茲に漸く形勢轉換大崩落相場も終了せるかの觀あり 米は兩三日來賣物續出して登場するに至り幾分賤迫氣味を加へて本日出筋一齊の手控へとなりたるが一方古米として は殘存米登場ならず精米筋は古米過品は買進み居れるさ移出筋の必要補充買進みある等氣配の商合相場を支へ左記値段にて三等價の手合あり跡目先軟弱の狀勢なり
出來值 神力三等三十六圓丁度 穀良都合三十六圓十錢 神力不合三十四圓二十錢

釜山穀物市場 廿一日

二十二日前場（頭重し）
▲第一節 大阪前寄不明兵庫十四日丁度の入電にて當地當伴中二十八先二十七 五十錢
圓三十五錢と十九錢上放れに寄付きと跳れたるも賣物多く二十五錢と押したるが押目は又賣物現はれ三十三錢と返し更に二十四錢
▲第二節 中出來不申先二十七 錢より六錢と辷り七錢引 ▲第三節 中出來不申先二十七 錢より三錢と押し六錢と返し四錢引
▲第四節 中六十錢より五十 先二十三錢より 十六錢と 賣物多く
▲第五節 中出來不申先十六錢より七錢と跳ね四錢と押し五錢 瓦落 したるが買物多く 九錢と返し七錢引
と結 保合の裡に頭重 局 き成行を示して散會

二十二日前場
▲中限　二十八圓五十錢　六十錢
五十錢平均值五十六錢

田中金兵衛商店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長一二〇番

仁川取引所
廿二日の十二月限
前場 寄付・止め・高値・安値
均段 値上 一節・二節・三節・四節・五節
廿一日後場 前日との比較
二七一〇 五高 / 二七一六 四安 / 二八一六 五高 / 二七〇八 六安

今村覺次郎
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長三三八番

白米標準値
四十四五十

白米小賣值
四十一錢 四十錢五厘

正米の低落に高直定
結果に外ならず▲併し正米さ定期さは尚大鞘を附し居る場合

期に影響 するは是則ち人氣の作用に依る 勿論である寧に角現下の形勢は戻り買人氣旺盛にて 大阪の鞘は

又復七圓一二十錢と擴大 するに至つた商りに鮮の擴大を見るならんと謂ふ▲本年朝鮮に於ける作柄に就き諸方の大豐作なるは一般の認知せる處なるが然るに或は一れの市內部には實海道方面の如き豐作なるは疑ふ餘地なきも其他は昨程の豐作に非ずさなし居れるが果して如何あるべきか

齋藤榮之助
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長三六七・三六八 略號（サ）又（ヤマサ）

天候惡く今朝大阪前寄三十四三十錢兵庫四圓丁度の入電なきも大阪不明の點ありとの事にて當地中二十八圓五十錢よりく二十五錢と跳れたるも戾りは賣物多く二十五錢と押したるが押目は七錢 跳れたるも戾り寄付き更に賣物現はれ三十三錢と返したるく二十五錢さ押したるが押目は

頭重く伸悩みの場面と化へたる氣配を得と目先 是必竟正米の大人 際し日增に粗の入津多きに依る

賣氣旺盛に存外 地場は悉く戻り賣なるが知る能はざるも未だ下鑑り...

生魚市場
京城日丸市場 ▲鯖は何れも荷割り三十入品なし 其他は特別の 鑄も鮮物は輸入ありしも依然品

仁川期米
二十二日前場（頭重し）

下關相場
▲鮮米は益々不況 其後白米の輸入あるしが大抵先物定物にて賣物多からず商權へあるも何分該處兩三日來人氣崩に陷り限先さ兩は一た低る不以に陷り

唐澤正次郎
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長六五番・一〇番

市場雜觀
▲昨朝場は大阪前寄九節三四九十錢と暴落し四圓丁度止め入電にて當地當伴止中出來不申先二十七圓 錢と二十八錢六下放れに寄付きたるも賣物多く三錢さ跳れたるが戻りは又賣物多く二錢と八錢と押し十二錢と返して一節を迄つた二節中出來不申先十五錢より三錢と押し六錢と返し二節と押し二錢三節出來不申先十二錢より五錢さ跳れ四節四節中出來不申先十五錢より六錢さ跳れ四錢と辷り六錢と散會▲市況は前場大阪の俄然暴落を報じたるより投げ物招致したるさ嫌の賣行に大 放れを演じ更に不勢に陷りたるも押目は又利喰も新規に買物現はれ跳は返し步調となりたるも火盤に於て正に角大阪成行を示現したりの大取組が果して如何なる變動を惹起するやに就き市場の大に注目せる處なるが今後の變動如何に依り意外の波瀾を生むに至るならん引跡塞電大阪後場三十四圓十三錢より十錢二十六錢と返し二十五錢止め東京一圓五十錢より六十錢七十錢止め兵庫四圓〇九錢より〇六錢〇九錢止め

廿六番角力（ばんすまふ）

毛谷村六助　四十二席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

本朝角力の創始は人皇十一代垂仁天皇の御宇當麻蹴速と野見宿禰の角力、猶ほ人皇三十五代文武天皇の御宇作義雄と紀の名虎の角力、是が天覽角力の始まりでございます、御前角力の始まりは源頼朝公の御前に於て河津三郎祐安と股野五郎景久の取組でございます、それより追々角力も行はれて參りましたが、却々正しいものでございます、土俵は天地を表したもので、內土俵廿八俵は天の廿八宿を象どり外土俵三十六俵は一年三百六十日を象どつたものでございます、四本柱は東西南北に取り陽と陽との角力を取るのでありますから、陰を以て鎭めるといふので上に水

引を張ります、水は性來陰なるもの、色に取れば黑いものだと申します、今秀吉公の御前に於て稀當三郎兵衛が六助と勝負を爭ひ、力負けをして三郎兵衛は張痴を云ひながら引込んで行く、此を見て一同はドッと笑ひました、引續いて第二番に上つて參りましたのが近江の國觀音寺山の主人、京極宰相高次の臣佐々九郎兵衛、脇內へ外れて恐れ入りますが、元京極の前に觀音寺を領して居つた佐々木義高の臣、信長の爲めに佐々木が亡ぼされて浪人と成り、爲す事も無く彼方此方に迷よつて居りました、噂を聞くと其頃、音寺は京極のものになつて居りました、高次と云は昔馴染でございますから之から行つて臣にして貰ふ、何處迄浪人では居られない、斯う考へまして九郎兵衛江州日野の宿から、觀音寺山まで來る途中が名代の日野の原見渡す限り一面の青野原でございます、日暮ると人ッ子一人通らぬ處で夜なく怪しい事がある、それ

用意の手裏劍取るが早いかエイと投げつけ、キャツと一聲姿は搔消す如く周圍は眞暗界びパッと明かるくなる見ると最前の老婆をうしろに握り刺し兩眼は鏡を並べた るが如く口は耳の邊迄裂け、ズンく棺桶を引摺つて參りました、中から死骸を取り出し、頭からモリく嚙み初めた、タラくロの端へ血が流れる、思はず知らず、九郎兵衛、ワハッくと笑ひ出した、これ出直せく未だばけ方が鈍い、死んだものから血が出るこ云ふ事があるものか、畜生の淺間しさと九郎兵衛は笑ひました、其闇にて鼻を摘まれても分らぬ程其內に老婆の姿が消ゆる、又もとの闇に吹き起つて來た一陣の怪風ピューと飛び付いて來ました一個の怪物、ムンズと右の手を延ばし腰の邊をウンと引つ摑みポカリ頭を打つた、キャツと一聲、ブル〳〵と體を振はしたかと思ふと、只つた一擊脆いものだとニッコリ笑つた九郎兵衛、折柄雲間を破り

あらはれた月によく〳〵見ると牢屋跡の古狐、之れを土産に京極家の城下に入りました、佐々木が乞びて間も無く入つたのであるから所々損じて居ります修復の爲に諸職人が大勢入込んで彼方此方に普請小屋があります、野宿も出來ないから、オイ〳〵開けろ、城內のものだから開けろ〳〵只今開けます』開けた途端、飛び込んで逃げを見廻すと飽屑が散つて居る大工

を承知をして居りますけれ共夜頭し盗を通ると、チラリと見ゆる燈火、燈火を當にして來て見ると一軒の居酒屋、思はず知らず眉毛に唾をつけたる九郎兵衛斯様な處に居酒屋があるとは不思議、覺悟を定めて九郎兵衛はズット入り『許せ』六十許りの老婆が居り『何でも良いから成丈早く一合付けてお呉れ』婆『ハッ少々お待ち下さい』と棚の上にある御膳を取り揃つて居る隙をフッと吹き拂つて入口の繩行に腰を掛て見て居りました九郎兵衛、着物の縞柄がはつきりと分る、あの様な闇い所であり乍ら着物の縞柄がはつきり見ゆるは狐狸の仕業に違ひない、

○安東縣近事

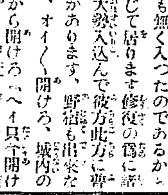
▲安東九月屠數　九月中に於ける安東屠場の屠殺數は牛五百三十一頭、犢十三頭、羊五百四十四頭、豚千八百九十二頭合計二千九百八十九頭なりと
▲石原代議士來　安東實業界に關係を有する富山縣選出代議士石原正太郎氏は來る二十五日頃安東に來るべき旨ある向へ通知ありたりと
▲安東野球試合　二十日正午より小學校庭の新グラウンドに於て安東滿鐵對安東實業團の野球試合ありたり其成績は追つて詳報する處あるべし
▲鷄冠山の初雪　安奉線鷄冠山に於ては去る十七日朝天寒威逼に加はり夕刻より降雪十八日午前三時頃歇みたるが一白皚々の銀世界と化したりと
▲安東の歌舞伎　大阪歌舞伎一座は二十日乘り込み町廻りを二十一日より京橋座に於て花々しく開演の筈なるが初日の藝題は前伽羅千代萩中式三番叟猫引拔き切引窓八幡村を出したり

『九』夜の明ける迄置いて見れ『大』ヘイ、貴下は御浪人樣ではりませんか『九』城内のものだと云はなければいかぬ故、僞つたのだ、アア何れ當城內の家臣にはなるの』と笑ひました

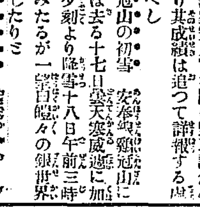
黴毒・淋疾・尿道狹窄 泌尿器科 花柳病科 皮膚科
安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 長電話四一九番

十月二十四日九星
舊九月二十日甲辰
本命 二黑 坤夜沸滅
▲二黑 得心のゆかぬ事有日新事見合せ方は吉母坤 ▲三碧 新規する事有は吉交際に注意せらるべし ▲四綠 安樂心得小病しに妨なし ▲五黃 親切とこかしの事有日新事手控に吉 ▲六白 祝融の日轉居入學に苦 ▲七赤 祝言名取婚姻普請物に凶の日 ▲八白 有の日轉居行衰求職名・屆入金等吉 ▲九紫 大節有日婚姻旅行入學名取婚姻動作 ▲一白 折合のつかね事有日新事手控相可

月やく
月やくとまり月經不順の爲めに氣分悪しく腹痛に下腹筋の張り逆上頭痛胸痛など強く顔色青白く身體の工合悪く色々他の藥を用ひても効なく心配の方は私方へ遠慮なくお申出で下さい出來ぬ方に返信料添へお申込みあれば其症状に適する妙藥を私の妙藥をお分ちします私方の妙藥を服用になつた方は喜んで居られます近頃流行のイカサマ藥ありて迷ふ方も多いが賣藥あり選擇が肝要であります
藥の選擇が肝要
東京市四谷區傳馬町東京停車場前 大阪市北區曾根崎上二丁目四番地 月經專門藥舖 發賣元 菊川屋



一番ききめ かぜねつ 藥 アンチピリン丸 蛇印
▲特長 ◇最新高貴藥の配伍 ◇絶對に副作用なし ◇胃中に溶解し易し
▲主效 ■感冒、ネツ ■インフルエンザ ■頭痛、癥疹 ■リウマチス、オコリ
▲藥價 十錢、十五錢、廿五錢、五十錢
本舖 大阪・東京 丹平商會 賣捌は全國各藥店



梅毒
そう毒 しつけ一切の 驅逐には先づ第一
下部便通の良劑……
治疾丸（各地藥店に有り）
百毒下し
を服用せられよ
藥價 七十五錢・一圓五十錢・二圓三圓
本舖 伊勢四日市市赤堀 加藤翠松堂 振替東京三〇四五番 口座大阪一七九五番

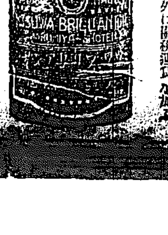
りん病 ばい毒
ルーデサック
本藥は殺菌力强大にして急性慢性淋病及び各種梅毒に卓效 し最も安全迅速に治癒の目的を達す
淋病特効一週分 普通貳圓五拾錢 梅毒特効二週分 普通壹圓二十錢
男用一打 四拾錢 特製六拾錢 女用一個 特製七十錢 其他各種（送料要） 細形參一個廿五錢
東京 京城永樂町二丁目交番北 ドラッグ商會 京城本部

MITSUWA PERFUMED HAIR OIL.
This is an ideal hair oil indispensable for men and women. It bases upon the famous Mitsuwa Camellia, Oil, which is widely acknowledged as matchless for the hair, combined with the best perfumes. It comes in three kinds; violet, lily and rose. The oil promotes a healthy growth and lustre of hair and prevents dandruff. The user will find the dressing of hair a daily pleasure. Price 35Sen per bottle.

ミツワ椿油に馥郁たる芳香を配伍せる
○ミツワ香油（みつわ・こうゆ）
本邦人の毛髪に適せる理想的のミツワ椿油に、品質優良なる芳香料を加味せる本品は、リリー、ヴァ井オレット、ローズの三種類があつて、皆從來の香油に優つたものである、毛髮の衞生に適し、榮養を良くし、美髪の目的に叶ひ、馥郁たる芳香は實に淸爽の感を與ふる理想香油である。
種類 リリー・ヴァ井オレット・ローズ
定價 一壜 金參拾五錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

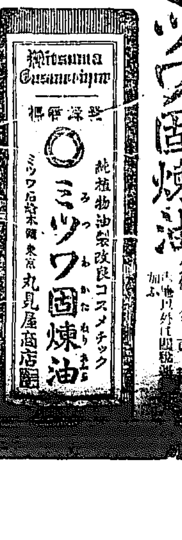
MITSUWA BRILLIANTINE.
Modern science has brought us such an excellent hair oil as "Mitsuwa Brilliantine." It bases upon the famous Mitsuwa Camellia Oil, which is matchless for the hair health, combined with the best perfume by a special process. It nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Also it removes dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling. Prices 30 Sen and 50 Sen.

ミツワ椿油を基礎こしたる光澤芳香油
○ミツワブリリアンチン
本品はミツワ椿油を基礎こし、之に品質優秀香氣温雅の香水を配合したるもので、男子の頭髪を分くるこきふるこ、更に毛髮の榮養を良くし、其の色澤を漆黑艶美ならしめ、而も芳香馥郁で自から爽快の感を與ふる模範的美髪料である。
定價 大壜 金五拾錢 小壜 金參拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ



MITSUWA COSMÉTIQUE.
Mitsuwa Cosmetic is made by experts through a special process from carefully selected Mitsuwa Camellia Oil. It containsno grease nor injurious substances to thehair. Moreover an exquisite fragrance is blended in it. It possesses all the essentialqualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintains its vitality, lustre and colour. Price 20 Sen.

ミツワ椿油を基礎こしたる改良髮附油
○ミツワ固煉油（みつわ・こすめちつく）
本品は最良無比の毛髪油として定評ある新鮮純粹なるミツワ椿油を基礎こし、油脂專攻の學者が最新の科學に據り研究案出せる特殊新法の方法を以て之を硬化せしめ、温雅なる芳香料を加へたるものである、本品は在來のコスメチック或は鬢附油に代用するこ、毫も毛髮を汚さず、折れ毛裂毛を生ずる憂ひ更になく毛髮の發育を助け榮養を良くし、其の色澤を漆黑艶麗ならしめ、容色に一段の美を添ふるここを得る實用的美髪料である。
定價 金貳拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ



MITSUWA TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.
Mitsuwa Tsubaki (Camellia) oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet. Price 25 Sen, 40 Sen and 70 Sen.

毛髪の衞生に適し其色澤を漆黑艶麗ならしめ食用に供すれば美味にしてオリーブ油に優る
○ミツワ椿油（みつわ・つばきあぶら）
本品は普通の椿油こは全然其の製造法を異にし、新鮮なる椿の實を悉く皮膜を去りて冷搾法を以て、些少の熱をも加へずに搾取せるものなるが故に、之を頭髪に用ゆれば毛髮の發育を助け、脂の過剩を防ぎ、色澤を麗しくつやの漆黑ならしめ、赤毛白毛に成り易き憂ひなく、ふけ、臭氣を除く、すべて切れ毛裂け毛を生ずることなく、本邦人の毛髮に最も適應する理想的完全なる純粹の毛髮油なり。本品は冷壓法の特殊製造に依るが故に、これを食用に供すれば、普通の椿油の通有性なる苦味臭氣なく、而も美味にしてオリーブ油に優り、比類なき逸品なり。されば料理に用ゆれば風味輕く、胡麻、榧等の油の比に非ずして味極めて佳良頗る賞美すべき食用油なり。
定價 小瓶……金貳拾五錢 中瓶……金四拾錢 大瓶……金七拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

京城日報

京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　編輯人 小川三之介　[illegible]

日本除外說
米公使南北妥協運動に就き
京城日報

一

徐總統の就任は、南北妥協に向つて一歩を進むべしとは、一般に期待せられたる所なるが、事實は[illegible]今や支那のために最も遺憾とする觀ある所にして、此等相互の區々たる感情を棄て、愛國的犧牲の精神を發揮するにあらずんば、戰後に於て回復すべからざる大打擊を受くべしとは、吾人が曾て反省を促したる所の要旨なるが、近頃に至り米國公使ラインシュ氏が、同一の注意を徐總統に致し、自ら南北の間に立ち、其の調停を策すと傳へらる。是れ支那の國際上に於いて吾人と目的を同ふするものなるが故に、其の勞を多とせざるにあらざるも、之に關して支那在留外人間に、種々の流說の行はるゝは、吾人の頗る奇怪とする所なりとす。

二

北京に於ける一英字新聞紙は、南北妥協の進行を圖るには、英米兩國等ら之が調停に當り、日本の如きは寧ろ之を除外するの必要を高唱し[illegible]英字新聞紙も亦[illegible]在留外人の說を流布しつゝありといふ。此の如きはラインシュ氏及び英公使ジョルダン氏の眞意にあらざることは、吾人之を察せざるにあらざるも、從來支那問題に關しては、英米兩公使の行動に就き、吾人の腑に落ちざりしものありしこと、曾に一再のみに止らざりしを回想するときは、今回のことも、二三新聞紙の一家言として、輕々に看過すること能はざるなり。

三

英字新聞紙が日本除外論なるもの、要旨は『從來日本政府の對支方針は、支那の一局部即ち一黨一派に偏倚し、全般の利害に關しては毫も顧慮する所なかりき。殊に最近成立の借款の如きも亦或一派の援助たるに止り、支那全體のために却つて多大の不利を來たせり。此の如き日本が、今更南北のいづれへも偏せずと稱し、調停に當るが如きは、從來の遺口に徵し、裏面に何等かの意圖あるに疑ひなく、又しかく解すべきは至當なり』云々といふに在り。隨分思ひ切つたる無禮の言分なるも、支那在留の英米人としては、從來ともかゝる放言を爲したること少からず、彼等が常に標る所は、日本勢力の增進に在るが故に、殊更に危言を弄し、支那人間に於ける排日の感情を煽動せんと試みたるものにして、英米公使の行動とは深き關係なきものなるやも知るべからざるも、兎に角北京に於ける風向きの少しく變態を呈せることを知了せざるべからず。

四

支那の問題を解決するに、我邦の諒解を俟たず、藪から棒に、突如として仲裁に飛び込み、其の成功を期し得べしとする外交家が、北京外交團中に存在すべしとは、吾人の信じ能はざる所なるも、公使ジョルダン氏が曾て南北妥協に就いて、暗中の飛躍を試みたりしことは、吾人の記憶に新なる所、米公使ラインシュ氏も亦熱心なる仲裁論者にして、或る場合には日本の國論をも顧慮せざりし程なれば、徐總統の就任を機として、新らしき行動を開始するは、極めて有り得べきことゝ信ず。唯其れ此の新なる行動を起すに就き、斷乎として我邦を除外するの勇ありとは如何にしても考ふべからざるのみ。

五

畢竟かゝる流說の盛んに行はるゝに至りたるは、支那に於ける日本勢力の衰頽したるがためにあらず。從來日本の特に厚意を表せりと想像せらるゝ段内閣の辭職、日本に於ける内閣の更迭、乃至日本新内閣が單に支那の内爭停止を翹望すと言明せるに止まり、何等具體的施設を爲さゞるに起因するものなれば、此際日本の威信を維持するがために、適宜の方法を執るの要あるべし。支那は固より流言の邦なりと雖も、流言のために迷惑を受けたること數ふるに遑あらず、當局者深く考ふる所なかるべからず。

中井錦城氏の國本培養論を讀みて（五）
南北生投

氏は國本培養につき官吏の努力と法令の威力に待たんとすれども予輩は農民の自覺を以て目的を達するものと思考す勿論法令の威力も吏の努力を要することありとするも評する處農民にして自覺せざれば不可なり特に鮮農の現狀に於て然る所以を痛切に感ずるものなり何となれば彼等は當事者が熱心に農事上の講話をなすに際しては子守歌として坐睡するなり實物を以て教育せんと試みれば彼等はそれを見て某事なら出來榮こ喫驚するのみ其の作[illegible]來たる勤勞に想到せざるな[illegible]の水田より斯く多量の米を收穫して此の大金を得たりと示してサテハと會得する者なし言を換て云へば言ふても聞かしても見せても利分を現實に示さざる限りは納得せざるものなり故に彼等には百の訓令千の講話は一片の白紙こ馬耳東風のみ依つて以て予輩が先に國本の培養は農民の[illegible]なれ[illegible]と斷案せる所以なり[illegible]說其訓練たるや謂ふべくして其實行の困難なるは豫想外なりと雖も既に國本の培養は急務中の急務なりとする以上は之れを研究して實行せざるべからず予輩年來之れを考究し未だ得る處なし唯内地農民を適當に分配して物的に教育するの一事は確かに有効なるを實驗せり故に東拓會社は未來の大使命たる移民事業につき益々努力せられんことを切望して止まざるなり更に一例を加へんに昨年米價の昂騰するや鮮人は今更の如く土地の有難味を自覺せり源城氏の財産か安定依つて以て期待すべきか改良種米が在來種米に比して一段の高價なるを知りたれば今後は敢て勸奬せざるも籾種の改良を見るべく勞銀昂騰は勞働神聖の感念を生ぜり斯の如く鮮農は實物的に感觸せざるに於ては教訓し能はざるなり依りて考ふるに國本培養は錦城氏の說の如く新法の發令制度の變更乃至官吏の努力必要なるべきもより以上に爲政者が農民の訓練に意を注がんことを希望するものなり（寄）

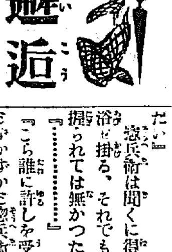
◎ブラゴヱ占領の勇士　敵の殘黨が集結し居たるブラゴエチエンスク市は九月十八日の未明完全にわが軍の手に占領された、當時對岸支那の黑河より黑龍江を渡つて一氣ブ市に突擊したのは滿洲守備第七師團の公主嶺の吉田騎兵中隊であつた、中隊の鐵騎三十有餘直ちに[illegible]りな試みて惡史の氣を吐けるもの尠からずあげて遂に墜城を指せしあたり[illegible]次戰爭中の好畫題ならずんばあらず寫眞はブラゴエ埠頭に於ける三勇士中央芦田騎兵大尉向つて左は堀井騎兵中尉向て右は長濱少尉（本社從軍記者金谷撮影）

反過激派活躍
過激派動員目的

最近の報道に依れば莫斯科に於ては反過激派間にレーニン政府の

△顛覆の陰謀　屢々企てられたるも全露に脈絡を有する大規模のものに非ざること[illegible]なれるレーニン政府の搜索嚴重なるとにより未だ成功するに至らざるが獨逸兵の露國撤退は獨逸の後援によりて勢力を維持し來れる過激派にとりて一大打擊たるは云ふまでもなく爲に過激派は一般的大動員を行ひたりとの情報あり而して大動員の理由は西伯利方面に於て英軍と對抗しつゝある獨逸軍に加して戰線に赴かしむるものなりとせられ居れるも消息通の觀測する所によれば這はレーニン政府が國内の形勢險惡ならんとするに鑑み過激派の

△勢力維持の　爲に武力を備へんとするものなるべく何となれば既に戰意を失へる露國過激派政府が更に獨逸側に加はりて戰爭に參加すべしとは思はれず尚別報に依れば露國過激派政府は土耳其が高架索のバクを占領したるを以てブレストリトウスク條約を廢棄したりとあり獨逸社會黨機關紙フオルカエルツ紙は露國のブレストリトウスク條約廢棄は土耳其に對して戰ひを再開することゝ及び若し獨逸にして同盟國たる土耳其を援助する時には獨逸に對しても戰ひを再開することを意味するものなりと是等の報道により推測するも露獨の關係は露國が積極的に獨逸と行動を一にして聯合國に當るが如きは豫想し得ざる所なれば今回の動員も國内の反過激派運動に備ふるものなりと解するを當れりとすべし



邂逅（かいこう）
佐々木峯雪

二十八　出來心　四

紳士は、ガラリと格子戶開けて、右手に怖れ戰く庄吉を引連れて、颯ひよく裡へ入つた。

『御免下さい』紳士は漠然云つた。

『だ、誰だい〳〵』

『初めての者です』

『なんぢや初めての者ぢや』惣兵衛は眼を剝きながら上り框まで辷り出た。

『わたしは天下茶屋の佐山徹郎と云ふものです』

『天下茶屋の……そいで何ぞ用でもあるんかい』惣兵衛の顏は相變らず酒に光つて居る。

『いや』と一步進んで『別に用事と云ふ譯でも無いが、實は庄吉さんとか云ふ子を慰めに來たんです』

『なに庄吉を慰めに……』と一膝も二膝も進んで『それぢやいつかのやうに庄坊に、あのその、へゝ』と氣味惡く笑ふ。

『ところで』と佐山は上り框に腰を落して

『些とお訊ねしますが、見ればこの雨風烈しい中に見るに忍び無い折檻して居られますが、これや一體何うしたと云ふんです、まづそれを聞きませう』佐山の詞は一句毎に緊張して來た。

『や、何んぢや騷める〳〵と吐しやがつて、乃公文金でも持つて來たのかと思や、折檻がさう斯うと、いらん大い御世話だい』

惣兵衛は俄に聲を荒立てた、其聲の一言毎に庄吉は縮上つて、紳士の後に小かうなつた。

『そりや大い御世話か知ら無いが人情として默つて見て居る譯には行か無いです』

『へゝん洒落た事吐すな、人情もくそもこの節あつたもんかい』

『いや待ちなさい』と佐山は手で制へて『人と生れて人情……所謂哀れ味を持たない者は、そりや人とは云はれません、犬にも劣り鳥にも及びませんぞ、わたしは斯うして人と生れた以上、斯うした出來事を此儘目をつぶつて默する事はどうしても出來ません、さそ其の折檻の理由を聞きませう』

佐山の激したこの詞の中には、[illegible]庄吉を根本から救はねば止まぬと云ふ熱誠が一句々々にほとばしり出た。

『やい、一體貴樣は誰に許しを受けて宅へ這入やがつたんだい、家こそ小さいし汚うもしてあるが、こりや乃公の住む城なんだい、小さからうが大きからうが、他人の宅へ入るにや法があらう、貴樣一體誰に許しを受けやがつたんだい』

惣兵衛は聞くに得堪へぬ惡口を浴び掛る、それでも佐山の右手は握られては無かつた。

『……』

『こら誰に許しを受けやがつた』

ごやかずかと惣兵衛は起つて佐山の側へ寄つた、佐山もつと起ち上つて、惣兵衛の襲擊に對する防禦の用意をした。

隙でもあれば佐山に飛び掛つて、思ふ儘毆つてやらうと思つたが、其處に一點の隙も無いので、徒にその怒りに閉めて拳を庄吉に向けた。

『やい〳〵、わりや誰に許しを受けやがつた、わりやもう宅から追ひ出したんだぞ、乃公はもうあかの他人様なんだ、其の他人のわりや誰れに許しを受けて這出りやがつたんだい』

惣兵衛は斯う云ふが否や、拳をふさに蟲も身に添はずに怖れ戰いて、縮み上がつて居る庄吉に飛び付いた、振り上げた拳はあはや庄吉の頭も割れよと、今や發矢と落ちようとした。

『こらッ、無法な亂暴すると許さんぞ』佐山は庄吉と惣兵衛の中に割つて入つた。

太い眉、血走つた眼、無法を怒つた其一文字に結んだ唇、それが振り上げた惣兵衛の拳と共に澱立つた。

『お、おのれ』惣兵衛は息を戲せて佐山を白眼んだ、[illegible]

雜詩抄

秋夜書懷　　蟠牛　芙蓉
世事紛紛奈白頭。蜉蝣漫抱百年憂。皇軍今夜屯何處。北斗高懸大陸秋。
鳳陽曰、慨乎其言。言外有趣。

秋感三首　　安永　春雨
朱門一食値千金。壓倒酒池還肉林。安識秋風秋雨夜。沼雲夢破反良心。
碩田無稅食無饑。一条木屏薰酒甕。蟲語可憐杯可擲。人情如紙穀如珠。
秋雨蕭蕭蟋蟀悲。新廊如水透書帷。感時猶誦田園賦。憂國誰呈百一詩。
鳳陽曰、諷規隱躍、寄託殊深

◆南京豆を破る力◆　南京豆の皮を破つて食べるのには一個を破るに十四貫位の力を要するから一升の南京豆（約二百五十個）を食べるのには約一噸の力を要する譯である（科學世界）

婦人世界

修養で人格を鍛へた婦人……新渡戶博士
他人の爲に盡くす心……安井哲子
感服したる貧者……高信峽水

無痛安產法　ドクトルメザンジーヤ……近江湖雄三
無痛安產實驗　大塚かめ
衣服物を安く買ふ秘訣……
古布利用の座蒲團作り方……
流行の帶と帶どめ……

漢方治療法の特長〔特種の病に對する〕村井弦齋
癪、指先の激痛、脫疽、肋膜炎の治療法……理は西洋治療は漢方

鞠枝は其貞操を獻ぐ　小杉天外作
靈鐘　螢火の巻

幼稚園有害　兒童の本性を傷く……藤本文學士
西洋婦人戰時の活動……平田三郎
日本婦人は粗食に過ぐ……櫻田學士
面皰、痣、黑子疣の治療法……醫學士古宇田傚太郎
炭の買ひ方使ひ方　見分け方
子供發熱の手當　加藤博士
四拾萬圓を背負した婚禮日本にあり
十一月號　東京日本橋　實業之日本社

理化少年
十月號　定價廿錢　郵稅二錢
光の速度（岡谷理學士）　樹木の話（西尾農學士）　食鹽の話（橋詰理學士）　評說の話（新井敬治）　航空機の話（井上中將）　發明物語（高田訓導）　物の話（高田俊治）　稀な物の話（坂部農學校長）　海賊軍艦エムデン物語（岡谷理學士）　算術の話（江見理學士）
理科懸賞發表　其他研究欄質問欄等　雜誌に類例なき賞金
東京丸ノ内　日本少年理化學界社　振替東京三〇五九九

登記　寧越金融組合
出資壹口ノ金額ヲ金拾圓トス
右大正七年拾月拾四日登記
京城地方法院寧越出張所

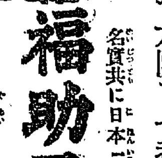
ソロバンいらず……應用無限‼活用自在……
心中速算法　忽五版
僅か五十五錢　東京淺草　青文堂

驚くべき製造高！
而して殆んど應じ切れぬ註文高
材料も工作も第一位の
サンエス萬年筆
價は低く信用は高し
海外市場より不斷の要需！
東洋一と公認の代表品
價一圓八十錢以上十圓迄　賣捌は全國到る處の文具店
本舖　東京馬喰町　細沼淺四郎

石黑男爵題字　山本瀧之助著
早起　第十版
早起は戰後の準備にして亦同時に戰前の準備なり。其の影響する所甚だ大なるものあり。本書は[illegible]古今に亙つて是等に關する教訓を網羅し特に[illegible]の事實を仔細に收錄せり。大方君子の一讀を待つ
定價七十五錢　郵送料金四錢

第參篇の内容を見よ
精神修養　逸話の泉
一言を聞いて其の人物を知るべく、一動を見て其の性格を窺ふべし、されば古來の名君賢相、偉人傑士、學者、高僧、農夫、工匠、商估等有らゆる階級職業を通じ苟くも其の傑出せる人物の逸事美談には所謂一言の教訓千金に價ふるものあり。本書は實に此の要求に適合せる者にして絶好の書也。時や正に秋也、青燈親しむべし、此書讀むべし、修養講話の資料として敢て一讀を江湖に薦む。
◆精神修養逸話の泉（第壹篇）定價壹圓廿錢　郵送料金拾錢
◆同（第貳篇）定價壹圓五拾錢　郵送料金拾錢
發兌元　東京市麴町區平河町五丁目　洛陽堂

東洋大學教授　高島平三郎先生新著
◆四六版布製四百八十頁餘　◆定價金一圓六十錢　送料八錢

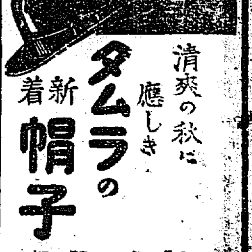


公告
一、屎尿馬車　貳百八拾臺
右來十月廿五日午前十時入札ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

競爭入札購買
一、落葉松電柱　參千五百拾貳本
詳細十月二十三日ノ本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

競爭入札購買
一、杉松材電柱　壹千五百四拾七本
詳細十月二十三日ノ本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

珍花　植物　果樹苗木
兵庫縣川邊郡山本村　種樹園　目錄進呈


清爽の秋に應しき
タムラの新着帽子
帽子卸　田村商店

[illegible]南北妥協を促進せんとする[illegible]會なるもの章炳麟氏の主唱に[illegible]
[illegible]英米人の組織にかゝる英米協會[illegible]
△歐米消費節約　歐洲[illegible]之に鑑み砂糖の消費節減を決定し[illegible]其消費高を一人一箇月二封度[illegible]

◇獨對米回答發送

國務省は豫告を受けずと傳ふ

ベルン來電伯林よりの情報に據れば米大統領に對する獨逸の回答は十七日夜作製の上華盛頓に向け發せられし筈なり 半官的獨逸新聞の報道に據れば獨逸の回答は華盛頓政府と商議を繼續するの性質のものなるや疑ひを容れずと謂へるも國務省にては未だ獨逸の回答に關し何等の豫告を受けずと傳へらる(紐育電報)

◇墺國皇帝憂鬱症

墺國皇帝は米大統領が其對墺回答に墺國に關する態度を言明せざりし結果大いに意氣銷沈し憂鬱症に罹り居れりと(巴里電報)

◇匈國の敗北自認

ブタペスト來電=ツァ伯は下院に於て述べて曰く吾人は敗北せる事を率直に認容せざる可らず今や吾人の爲す可き業は能ふ限り平和の爲めに盡すにありと(紐育電報)

◇スラブ人聯邦布告反對

匈牙利地方問題に言及せず

墺國皇帝は墺太利を聯邦とし民族自治權を布告したるも該布告は匈牙利の地方問題に關し何等言及する處無く且つ波蘭トリエスト諸問題に關し留保する處あり墺國內の獨逸人は寧ろ此布告に服從す可きもスラブ人は彼等の民族的統一を認めざる該布告に對しては斷乎として反對すと(倫敦電報)

◇獨逸危急存亡

フランクフルト來電=同紙曰く『今や獨逸は危急存亡の秋なり獨宜ろしく堅忍力戰す可し』と(倫敦電報)

◇戰爭繼續不可能

獨逸の食料缺乏極度に達す

ロッテルダム來電=獨逸にある英國俘虜兵の報道に據れば獨逸軍人は獨逸の食料缺乏の極度に達し居るを以て今後二箇月以上戰爭繼續不可能なりと語れり(倫敦電報)

◇民本主義の旗幟を押立てよ

獨逸新聞の特筆大書

獨逸新聞は特筆大書して曰く『獨逸新政府は果して其の聲明を實現せしや現在迄に於ては單に新大臣の任命を行ひしに過ぎず政府狀態は依然存續し大赦布告されざるは如何』と新聞は更に『民本主義の旗幟を押立てよ總ての國は獨逸に對抗しつゝあり』と附言せり(アムステルダム電報)

◇獨逸議會召集期

獨逸議會は十月二十二日を以て召集さる可し(倫敦電報)

◇和蘭避難民收容

和蘭政府にては夥しき避難民多數入り込み來る可き見込なるを以て之れに備ふる方策を講じつゝあり(アムステルダム電報)

◇露國形勢益險惡

露國の形勢益々險惡となりつゝあるが英人は尚多數同國に在住し居れり(倫敦電報)

◇自治會軍人團衝突說

西伯利自治會と西伯利軍人團との間に容易ならざる衝突起りたりとの說あり自治會は從來常に極端說を主張するの傾向ありたり(哈爾賓電報)

◇サマラ首相逮捕

サマラ政府の首相アクセンテフは襲に逝れしが今回他の同政府代表者と共にオムスクにて逮捕されたりとの報あり(哈爾賓電報)

●水戸侯の入札

今秋入札中の呼物たる水戸家(德川)の藏品入札は廿一日[illegible]ありたり(東京特電)

[illegible]日萬圓以上の[illegible]

●一人で四萬[illegible]

獎勵金も[illegible]

◇米飛機一萬製作

米國陸軍參謀總長マーチ將軍曰く米國は今日迄既に飛行機一萬臺を製作せり(華盛頓電報)

◇米絹類製造制限

米國戰時産業局は來る十二月一日より向ふ六箇月間絹類綿一切の製造額を制限し既往三箇年間平均産額の二分の一迄に減縮する旨を發表せり(紐育電報)

◇軍政府布告撤回

徐總統に對する廣東軍政府の布告は撤回されたり之れ岑春煊氏に對して北方より何等かの通牒達したる結果なる可しと觀測さる(香港電報)

◇支那平和氣分旺盛

馮梁氏等の運動漸次功を奏す

馮國璋、梁士詒氏等の主和運動は漸次功を奏しつゝあるが如く殊に昨今歐洲の講和說傳はり支那も速に統一して戰後準備を爲すの必要あるを感じ一段平和氣分勃ぶり來れり段祺瑞氏も徐總統の本意を諒とし和平統一策に賛成し錢內閣も近く徐總統の爲め主和的統一の方針を布告するに至る可し(北京特電)

◇段氏と國內問題

段祺瑞氏は最近某氏に對し國內問題は徐總統の解決に一任すと語れり右は段氏本人は當分和平に反對せざるを表明する者なり(北京特電)

◇徐總統等の對策

徐大總統梁士詒氏等の時局解決策の大綱左の如し(北京特電)

(一)副總統は南方に讓る(二)內閣は北方(三)國會は南北合議制となす事

◇新內閣初回の外交調查會

原內閣成立後第一回の外交調查會は廿二日午前十時より宮中に開かる各委員全部參集首相は內閣を組織せるに就ての挨拶を爲したる後當調查會も寺內內閣と同樣存續さるゝ上は將來大いに盡力されん事を臨む旨を附言し次いで新任委員幹事等の挨拶ありて後內田新幹事長より原內閣成立後に於ける外交上の經過及び顛末に就き報告あり之れに就き考查審議する處あり正午退散より特に午餐の下賜あり(東京特電)

◇煙花の註文

佛國政府より横濱の花火製造所に對し煙花百萬發を註文しきたれりと(東京特電)

◇同業組合總會

安東輸出貿易商

二十二日午後二時より安東商業會議所に於て安東輸出貿易同業組合創立總會を開き具體的成案に就き協議せり(安東特電)

●物價依然昂騰

朝鮮銀行調查九月中に於ける京城重要商品の物價指數は輸移出品二五二、二二移入品二六九、四二にして平均二五九、一〇を示し之れを前月に比すれば輸移出品に於て約一〇輸移入品に於て約一五の昂騰を示し居れり(指數は明治四十三年十月の物價を一〇〇とす)例によりて各品の騰落保合を示せば左の如く騰貴の二十一品保合の七…

輸移出品

▲騰貴十四品 精米、大豆、鹽、大麥、小麥、真荏、葉煙草、明太、鐵、糸綿、松薪、炭、紙、牛皮、牛脂

▲保合一品 木綿、松挽材

▲低落一品 玄米、小豆

輸移入品

▲騰貴七品 精糖、綿絲、和金巾、支那紬、棉花、石油、洋紙

▲保合五品 醬油、清酒、ビール、石炭、金物

◎銑鐵會社工場

仁川萬石洞に設立

京都五條通朝鮮無煙炭礦株式會社內に創立事務所を設ける朝鮮銑鐵株式會社にては今回資本金百五十萬圓を以て仁川萬石町に工場を設置し一日二十噸製出の熔鑛爐一基を建設し明年三月より作業に着手の豫定を以て諸般の計畫を急ぎ居れるが今之が內容を聞くに資本金は前記の如く

▲百五十萬圓 にて一株五十圓とし第一回四分の一を拂込み三萬株を以て滿株となすべく尤も株の引受割當ては發起人及び賛成人に於て二萬七千株一般公募は三千株に止むべしと事業の主なるものは一箇年六千噸の鼠銑鐵を製出するの計畫なるが之が收益は仁川渡一噸三百五十圓と見積り一箇年の收益銑鐵原價代金のみを以てして優に

▲二百十萬圓 を得る見込なりと而して該工事は嚢に東京林金五郎氏の計畫せし仁川銑鐵所の事業を繼承し其內容の計畫を變更して着手するものなるを以て基礎工事は既に三分の進捗を見熔鑛爐築造用耐火煉瓦の如きも製作に時日を要する爲め準備殊に成れるもの既に現場に現存せるを以て工事は意外に迅速に進捗を見るべしと右の如くなるを以て會社の成立は頗る容易なるべく遲くとも十一月下旬迄には創立總會を開催するの運びに至るべき豫定を以て

▲諸般の計畫 を急ぎつゝあり工事は發起人一同前途安出にて依りて本月末より着手し明年三月よりは作業開始を爲す豫定なりと殊に同會社は富士製鋼會社の後援の下に總ての施設計畫を爲しつゝあるを以て其の前途頗る有望なるものあるべく創立委員常務として仁川側發起人加藤藤太郎、和田友太郎の兩氏之に當るべしと因に發起人及び賛成人の氏名を擧ぐれば左の如し

▲發起人 [illegible]

●東拓移民締切

本年東洋拓殖會社にて募集中なりし第九回移民は九月三十日の締切りなりしも應募の狀態により十月十五日まで締切りを延期したるが結局の應募總戶數は一千四百七十九戶にして第一種移民一千百七十一戶、第二種三百零八戶となりたるが之れを內地並に朝鮮に分てば左の如し

▲內地 應募總數九百零一戶、第一種七百二十三戶、第二種百七十八戶

▲朝鮮 應募總數五百七十八戶、第一種四百四十八戶、第二種百三十戶

尚ほ右の外九月十五日締切り後應募者の身許調查中のもの約二三十戶あり結局應募總數は一千五百戶を越し昨年の應募數一千五百五十二戶と大同小異なるべきが唯昨年は第二種移民は百五十二戶に過ぎざりしも本年は第一種に於て若干減少したるも第二種は昨年に倍する事を示し居れり

●東拓收納豫想

東洋拓殖會社本年の小作料收入は各出張所共目下險味中にて近く終了の上決定すべきが目下の所その收納豫想は約三十四萬六千石にして作付の當還と天候順調のため之れを昨年に比し約一割強の增收となる成績なりと

◇獨回答如何

傳ふる處區々たり

獨逸の回答に就き十九日當地に接手せられたる歐洲來電は其傳ふる處區々なり

▲アムステルダム來電 は右回答は多分十九日中に發送せらる可しと言ひ

▲ベルン來電 は未だ完成せられざれば愈々發送せらるゝ迄には尚數日を要す可しと又曰く獨逸帝國議會は二十二日に召集せらる可く海軍々令部長及び參謀次長相携へて伯林に來著せり右は回答に關する協議の爲めなりと而して獨逸の回答には米國の提議を悉く承認せざれども強ち全然拒否もせざる可く幾分の餘地を存して向後の協議に便にするならん尚傳へらるゝ處に據れば獨逸の大製造業者商人等を初め其他の愛國的經濟的協會は聯合して最も有力なる防禦軍を組織す可しと主張せる決議文を可決せり又

▲コッペンハーゲン來電 は曰く獨逸は其回答に於て米國大統領の所謂獨逸の蠻行に關する批難を否認し休戰に就き協定成立せざる限り潛航艇戰は決して休止せざる可しとの旨を宣言す可し但し獨逸は大統領の要求を排斥せずして引續き交渉を無すならん(紐育電報)

☒玄米食の風習

復古に就て(三)

渡邊彰氏談

抑も農家の勞苦は容易なるものではない然るに秋收額の約三割を粉糖として吾々の食料に供するに不適當ならしむるは實に馬鹿々々しき次第と云はねばならぬ、特に我國の如き前途昌隆の瑞祥朝野の間に漲溢して

人口の增加する 國柄に於ては國民の常用主食料の充實に就て常に十二分の注意を拂はざるべからず、何となれば人口の增加に比例して米の產額即ち水田を增加することは最も困難なるが故に既に收めたる米は其の分量を減ぜずして吾人の食料に供給することを工夫を爲さざるべからず此の見地よりすれば秋收米の約三割以上を粉糖となし吾々に食料としての供給力を削減する習慣は如何なる方法を以てしても之を打破する工夫をせねばならぬものと思ふのである此の點に就ては天下大小の政治家及び實業家に深き注意を拂ふて考究の勞を吝まざらんことを望まざるを得ずであります是よりいよいよ

玄米食と白米食 の損得論に入りて所感を述べやうとするに就ては先づ以て玄米と白米食との滋養成分の多少を比較表出しなければならぬ

主要成分	玄米の含有量	白米の含有量	滋養分量の較差
蛋白質	[illegible]	[illegible]	[illegible]
脂肪	[illegible]	[illegible]	[illegible]
灰分	[illegible]	[illegible]	[illegible]
燐酸	[illegible]	[illegible]	[illegible]

玄米と白米とを比較して滋養分量に多少の相違あることは右に表示せるが如く詳言すれば吾人の現今に於ける常習は滋養分を減ずる爲に

又は隣人に對し 食料の供給を受けて居るのである然も夫が緣々勢數を增ふて主食の原料の供給を受けて居るのである然も夫が建國以來の習慣と云ふ譯でもなく過去二百六十年來馴致したる惡行なりと聞くに及びては一層馬鹿々々しき感を起さざるを得ぬ然れども此社會的習慣の上下普通的の慣行は一家族又は一部落一村中の等にては決して革新的に慣行を打破し得るものではない假令ば一家族中の玄米食を爲すとしても來客の接待に玄米食を供する能はざるときは自然一家族の中にも弛みを生じ何時しか破壞せらるる結果を生ずることを免れぬ次第である是れ社會政策の實施成績を奏するが爲め國家の政治的威力を用ゐて白米食の慣行打破を號令せられたしと希望する所以である

◎洪國民族問題

十月十三日ブダペスト發電報に依れば匈牙利首相ウェッケルレは同日四十八年黨總會に於て演說し講和に付いては獨逸と協同して進むこと大に必要なる旨を說きたる後民族問題に言及し匈牙利はダルマシア及び匈國法律の下にあるクロアシアを合體することに何等反對せず又ボスニヤ、ヘルゼゴヴィナはクロアシア又は匈國の孰れかに從屬することを自身決し得べし去れど民族問題は講和會議の席上に於て議せらるべきものにして國際法の原則に從び右の主義は聯合諸國にも適用せらるべきものなり墺國に於ける輿論は聯邦主義に傾き來りたるは重大の事柄なるが墺國はチエック人の分離運動を抑制すること能はざるが如きは遺憾なりと述べたり獨逸にては引續き憲政改正の議盛んなるが最近のウォルフ電報によれば同國憲法第廿一條第二項の廢止は已に聯邦議會に承認したるが又聯邦議會の協贊を要する場合に帝國議會の協贊を要すこと規定並に憲法第十七條に規定せる宰相の責任に伴なふべき法律的効果も明かに規定せんとする案近く帝國議會に提出せらるゝことなるべしと(瑞西發某電)

◎黒井中將入京

旅順要港司令官黒井海軍中將は東京に於ける會議に列席の爲め東上の途次廿一日龍山驛下車太陽館に入れり

◎小原長官歸任期

小原農商工部長官は西鮮地方の視察を終へ二十二日夜歸任の豫定なりしも都合に依り日程を變更し二十二日朝平壤出發滿洲に向ひたるが二十五日午後七時二十分南大門驛着歸任の事となるべし

◎周遊賃金增徵

二十日より鐵道局支那、歐客(片道)往復周遊及び手荷物に對する所定賃金の外增徵及び低減額の八割を徵收すべしと

◎馬山線時刻改正

列車時刻表馬山線中十一月一日より四〇二混合列車は左の通り運轉時刻を改めたり

▲馬山發午前六時 ▲三浪津着同七時三十七分

◎東拓收納豫想 …

□奉天より 三好生

長春行の途上奉天より一筆啓上仕候。始めての滿洲見物の事とて、是一たび國境を渡ゆれば、[illegible]山川風物らしく、車窓に展開いたし參り候。[illegible]沿線一帶に武步嚴めしき日本兵の[illegible]警戒せる[illegible]大和ホテルに休憩[illegible]際聞き渡し候。當地は四五日前に[illegible]ありたる由に候も目下のところ[illegible]の比には無之候。不一

人事消息

▲宮崎佳太郎氏(殖銀京城支店) 廿二日夜入京

▲萩原長吉氏(東京木綿商) 同上天眞樓へ

▲小田雪生氏(哈爾賓總領事館員) 同上

▲奥村次郎一郎氏(東京) 廿二日退京

▲細谷京雄氏(京都選出代議士) 廿二日退京內地へ

▲白井陸政士 廿二日夜入京廿三日出發元山咸興の兩地へ訴訟用件にて出張

烏瞰 組

早かれ遲かれ兎に角歐洲大戰もかたが付くに相違ないさうすると愈講和會議と云ふ段取になる▲扨て講和會議に日本から誰れが行くかこは卽々面黑い問題だ珍田大使が行くべしと云ふ說もある▲又一部には全權大使として山本權兵衛伯を派遣すべしと云ふ說も最う出て居る▲其理由は權兵衛伯が前年伯林に行つた時獨帝に謁見した事があつた▲其時伯は謁見の時には何うしようと前晩マンジリともせず考へてヤーンと案を作つた▲愈々謁見となると喋らう喋らうと思つたり稽古もした所見ると云ふものはのべつ幕なしに大演說をやつた▲流石の獨帝も遂に一言だも挾む餘地なく唯呆れて聽いて居た▲其後で獨帝は『日本には大變な奴が居る』と驚いて居た相な何しろ彼の雄辯で世界に有名な獨帝を前に廻して一言も吐かせなかつた男だから講和大使には適任だらうとの事▲處が反對者はイヤ其れは伯の半面を見た丈けの話である▲伯は其歸途米國に立ち寄つてルーズベルト君と會見した▲而して其時も例の此の傳をやらうと思つて居たら今度はルーズベルト君が先手を打つて▲伯を前に廻して喋るは喋るは頭數時間も立板に水のぶつ通しで今度は伯が呆れて一言も出なかつた▲此が講和の時に米國からルーズベルト君が出て來たら伯は遂に一言も吐かず歸つて來るのだらうと▲ト云ふにはどうも上があるものだが兎に角カイゼル、ルーズベルト、山本權兵衛だから頗る對照が面白い

婦人界

十一月號 定價 東京社 東京市[illegible] 振替[illegible]

◇中流生活難 ◇外國米を試みて…つる子 ◇儉約と人柄 新渡戶博士 ◇私の學校の無菜日…井出教頭 ◇心の持ちやうで惡くなる病 佐々木博士 ◇子供に話して聞かす話…前田 ◇子供に多い氣管 博士 ◇東京の女の姿…つる子 ◇子供に工風力をつける躾け方 ◇多座蒲團のいろいろ ◇食物を嚙まぬ害 佐伯博士 ◇上海華々人未亡人哀話…時雨 ◇手輕な日々のお惣菜…利根子 ◇女髮結となつて夫を助く ◇大正の不如歸 ◇呪ひの手 ◇生活難と奧様 ◇電車哲學 漫畫 ◇小野菊 講談 押 ◇主婦となつて氣についた事

特別附錄 育兒の卷 每號各專門大家が異つた問題について執筆された家庭の重寶

鑛物分析及鑛床調査 松永分析所 京城太平通 電話長二八二三番 日繪◇コスモス

雲井染御紋附地 用人婦貴之[illegible] 外村市郎兵衛 京都四條烏丸東

實用パン製造法 [illegible]乾燥パン種七個入一袋 一部定價金廿五錢 送料貳錢 玄米粉入パン種 發行所 株式會社東京割烹講習會 東京本郷御茶の水

法人登記 谷山出張所

商業登記 利川出張所

法人登記 平昌出張所

內勤社員 數名 外勤社員 十數名 朝鮮出版社 朝鮮實業時報社 京城黃金町一丁目

最新刊 [illegible] 漢文新釋 [illegible] 石文集 [illegible]

大阪屋號

京日案內

書記採用 月俸五拾圓

倉人募集 齋藤酒造會社

年金恩給 江州屋本店

醫招聘

藥店讓る 倉橋

金融 大和屋

十四萬圓で藤田男に落ちる
[illegible]圓にて十四萬二千圓にて藤田男の手に落ち外に一萬圓以上のもの

京都瀆職事件の豫審決定
[illegible]保元[illegible]市會議員[illegible]名[illegible]有限と決定し京都地方裁判所公判に附する由なり。

遞信現業員
既報の如く遞信部内の現業員[illegible]金月額四十萬圓の割當方法は其細目[illegible]尚ほ一人にて以上の四箇條全部に

[illegible]地方と信州や山梨其他の他開散なる所にては少少割前する筈なりと(東京)

仁川米豆取引
[illegible]二十九錢と一步下押し三十錢[illegible]と強硬の成行きを示して[illegible]
◇當限出來不申

從軍寫眞畫報

従軍記者 金谷眞 撮影

(1)浦鹽に於ける西司老大尉(寫眞向つて左より浦鹽本願寺の大田發眠師、那司大尉、當師(北海道)ハバロフスク本願寺白石師、チタの監獄に捕へられたる上野師、浦鹽本願寺住職(2)ホルワット政府の外相クレム氏 クレム氏の夫人は京城露國領事の姻戚である、寫眞は浦鹽停車場列車中のホルワット政府前に於ける外相夫妻と(3)浦鹽の聯合軍司令部

○過激派の沒落まで 荒された齊多市

日本兵に怖氣づきセ軍とチ軍に挾撃された過激派 銀行を襲つて金塊を持逃げ

従軍記者 早川磐溪

掠奪、横領、强姦、殺戮と有らゆる惡業を重ねた過激派も、出さうで出なかつた日本軍が愈出兵する事となつたので震へ上がり、浮足立つてぞ見ゆける折しも、東の方からはイルクック方面にある友軍救援の役儀を承はつたチエック軍がセミヨノフ軍を出し拔いて押し寄せ貂いて騎虎の勢ひのセ軍が

▽陣鼓の響鼕々

と潮の如く攻寄せる、又西の方、ウエルフネウーチンスク方面からは西驅さして馳せ上らんとするチエック軍が既に一二日の後には齊多市に乗り込むと言ふ危急の場合に臨んだので、活きた心地もなく、アレキサンドリヤ街上巍然たるフワトラの巨屋の中では、獨墺俘虜將校を中心に闘ふか、逃げるかと會議を開いたが、中々議論が纒らない、兎角する中に東西の敵は二十四日の夜には市するど言ふ情報が入つたので據なく闘ふ事となり街の四ツ角に機關銃を据ゑて監獄に在つた四百餘の

▽白衛軍を中心

として反過激派と闘ひを開始した、元より深腰フラ〳〵の赤衛軍が獨墺俘虜將校に尻を押されての戰志だから、頑强に闘ふ可くもない、二十四日午後五六時頃から翌日の午後二時頃までは步哨の睨み合ひと、撃ち合で、あつさりした市街戰をしたが夜になると本性を現はして帝國銀行を襲ひ、金塊八百貫を掠奪して第二知多停車場に引き上げゼーヤ河畔して落ちようとした、然るに今の今まで洞ヶ峠で天下の形勢を見て居た警察署長は過激派の敗勢と聞いて、忽ちに二百餘名の警官を驅り催し帝國銀行を包圍して

▽五十餘の殘類

を捕へ武装を解除

を追つた、此時過激派の幹部は大金を抱いて既に發車した後であつたが、まだ數百の赤衛軍が殘つて居たので同僚危しと聞くや、機關銃四臺を引つ張り出してイルクーツスカヤの大廣場に並べ、[illegible]を威嚇して、救ひ出し逃ふ〳〵の體でチタ市を後に逃げ去つた、過激派は實に呆氣なくも沒落したが轉んでも只は起きぬ彼等の持前は散々齊多を荒した揚句、大きな後つ屁を放つて逃げたので有產階級や反過激派は過激派と言へばペツと唾を吐く眞似をして見せる、過激派は白衛軍の手に依つて退治されたにも拘らず、二十八日入市したチエック軍は

▽功名を我物顔

にしてフワトラ百貨店を占領し大いに意氣揚々たる處を市民に示したものだが、續いて西伯利軍が編成されて毎日訓練をしては何處へか兵を送る、白衛軍が兵を練る、其處へ二百餘名のセ軍と共に安藤大尉の率ふる我七師團の騎兵十四騎が入市したので、一時幅を利かしたチ軍の御光が消ゑ、セ軍が光り出し、第三師團の入市と共に日章旗が眩ゆい程輝くやうになつたが、我先登の騎兵がチタ市に現はれた時の

▽我在留邦人の

歡喜は非常で老幼相携へて停車場に出迎へ、目下從軍記者團の宿舍に充てつゝある第三師團司令部前の信託會社内に案内して宿泊せしめるなど到れり盡せりの歡待をした

○蘭屋殺しの情婦 忠信の秘密 (十)

悲劇の幕は開いた

血涙を絞つて嘆願した都野川の妻 辯舌を以てそれに酬いた藝妓忠信

忠信は胃痙攣で倒れた

再度の訪問

優しかつた顔に凛とした險しさを包んで……

偽手紙の一件があつてから幾日かを經て都野川の妻女きく子は再び忠信の病室を訪れた。其時は前回見舞の時とは血相が變つて優しかつた顔に凛とした威嚴が備はつて居た。そして忠信の病室に入つて丁寧な挨拶を交してからきく子は『早速ですけど妾今日はあなたに御願の筋があつて御伺ひ致しましたの』と口を切つた。

忠信は病床の上に居住ひを直し何食はぬ顔をして『どんな御用で御座いますか』と優しく答へた。

涙を呑んで

頭を低うして都野川の妻女は斯う願つて見た

『こんなこと申上げては失禮かも知れませんが、わたくしも無理はずみに飛び出してまゐつたわけではありません、是非あなたに聞き届けて頂きたいと存じまして……。と申しますのはわたくしの主人が大變あなたの御世話になつてゐるさうでございますが、只今のやうに毎日〳〵朝から晩まで家を明けて居ては、世間に對する外聞も悪いし、又商賣上にも大變に都合を生じますので、絶對に家に居て呉れとは申しませんが時々は歸つてまゐりますやうにあなたから被仰つて頂きたいのでございます……』

貞淑の涙!!!

廿人に近い家族を如何にせん 貞女の瞼には涙が滲む

きく子は尚ほ言葉を次いだ『御存じかも知れませんがわたくしの家には同胞や知人などまで一緒に暮して居りますので十七八人の多勢の家内になります。それを主人の腕一つで養はねばなりませんので只今のやうに酒色に耽つてゐてはどんなに困るか分りません。それに主人も今の商賣以外にまだ計畫して居る事業も御座いますので萬事に不都合で御座いますが、わたしどもが何と申しましても、友達の御方が何と忠告して下すつても一向聞き入れませんから、あなたから是非歸つて呉れるやうに被仰つていたゞきたう御座います……』

きく子の瞼には涙が滲み出た。

忠信の毒舌

嵐はやうやく[illegible]

『御話はよく分りましたけれど、お氣の毒樣ね、併し奥さん、あなたは都野川さんと妾が何か變な關係でもあるやうに被仰るけれど、何か何かの間違ひでせう、何を妾にそんな飛んでもない事を被仰るのか知らないけれど、あんまり失禮な言ひ分で御座いませんか?』

忠信は毒々しい言葉を以て酬いた。それを聞くや否やきく子は眞に恨骨に徹したらしく屹と相手を見据ゑ乍ら忠信の不埒を詰責し出した。すると忠信も破れ口に任せて居り返し激しい爭論が始まつた

狂風怒號!!!

場面は忽ち一變して悽慘な光景を現出した……

忽ち忠信は鋭い叫びを揚げて『都野川さん!來て下さい!早く!わたし殺される!……』忠信は續けざまに叫んだ。と何處に居たのか都野川が飛んで來た。續いて醫師や看護婦が驅けて來た。其刹那忠信は激しい胃痙攣が來て床の上に打倒れた。室内は忽ち嵐の吼え狂うが如き悽慘な光景と變じた。

○○○部隊の北行 龍山驛通過……既に雪見る長春へ

京城の宮下佐藤小氏も加はつて居る

例に依つて愛婦・學生・在鄉軍人の歡迎送盛ん

既に降雪あり寒威の敵に襲はる、と聞く長春へ派遣さるべき第○師團の○○部隊將校十三名下士百二十名は廿○日龍山驛を通過北行したが例によつて

★愛國婦人會 在鄉軍人 各學校生徒等の歡迎送は熱誠溢るゝを見る午後四時四十九分列車構內に入るや萬歳歡呼の聲に場內も鳴らさんばかり、輸送指揮官宮澤少佐はニコ〳〵と元氣好く一々出迎へ人に答禮をして廻る、それから婦人會員達の甲斐〳〵しき驛庭で甘食を認めるその間を各婦人達はハンカチを洗つて渡すもあり水筒にお湯をつめるもあり

★繪葉書を配 るもある等にて至れり盡せりの厚意に兵士達は大滿足、兵士は語つて云ふ、『私達が出る時は全く奉天に止まる事になつて居たのですが昨日釜山に上陸して聞けば急に長春まで行く事になつたさうです、我々の勤務ですか無論戰線には立ちませんが或意味に於ては戰線に立つよりも尚

★重大な任務 でありますから、外地に斯うして大歡迎を受けると御厚意に對しては、どんなに寒くつても我慢せなければなりません』やがて○時卅分汽車は煙を後に北へ動き始めた萬歳の聲は再び場をゆるがして居る、この日重なる歡迎送者は久水外事課長、豐永佐藤博士、大橋愛婦幹事等を初め愛婦の幹部、龍山兩聯隊將校、龍山中學校

★南大門小學 校、仁川小學校、普通學校の各生徒等であつたが此の一行中に中央試驗場の宮下技手山林課の佐藤氏等も應召されて居たので同僚が多数出迎へて餞の香で立ちながら別盃を擧げて居るのは友情の程も忍ばれて床しかつた宮下氏の若い夫人が張り詰た心すきを洩れてともすれば込み上げて來さうな涙をジツと堪へ忍んで居る樣は皆の同情を引いたらしい

○全く當てにならぬ 獨逸の降服

日本には誰一人獨逸の事情を詳知した者はあるまい 幾ら弱つても俄に木はポツキリと折れぬ

▽―黒井海軍中將車中談

旅順要港部司令官黑井中將は途中まで出迎へたる記者に語る、獨逸の降服なんて全く當になつたものでない何しろ今でも疲れ丈け

◆國內の秘密 を嚴重に守つて他に一切洩さなかつたのだから恐らく日本人誰一人として獨逸の事情を詳細に知つた者はあるまい從つて今降服するか否か分る筈がない見給へ

◆今迄日本で 相當の學者だと羽振を利かせた連中がいや獨逸は何時降服するなんて立派な説を述べて、發表したもので一つとして當つて居まい吾輩の獨逸降服觀

◆ソンナ事は 無論分らないサだが幾ら獨逸が弱つたと云つて朽ちた木がポッキリ倒に折れ…樣な事はあるまいサ

▲旅順の病院を襲ふた 流行性感冒 押寄せる患者

◆…醫者も看護婦も罹る 旅順は頗る不穩無事何も問題はないが而し近來の流行性感冒が大流行で住民も困つて居る都督府醫院などでは此種の患者が

▽大多數を占めて 非常に繁忙を極めて居るが同醫院の看護婦卅餘名と醫師とが又同病に冒されて弱り切つて居た同地の感冒に就て醫師の云ふ處によれば今回の感冒は非常に惡性で

▽一日同病に冒さ れると病勢が却々永い殊に今回のは流行性でなく傳染性で三尺側に寄つたものは乾度やられると云ふのだから堪らない

△圍碁に上達せられた 肅親王

◆……日本に好意を有たる前淸肅親王は世上一切の煩累から脱く事を好まず終日圍碁に没頭の有樣で近來非常に上達せられた樣だそれでも日本には非常に御世話になつて居るからと云つて如何なる人が面會を求めても乾度會つて居るには感心の外ない無論復辟など毛頭ないと誰にでも語つて居る

○『人形の家』と本紙 (上)

黄金館に於て映寫中のイプセン原作『人形の家』は眞理と解放の一大福音として歡迎せられ專任辯士西村樂天の快辯と相俟つて一層の好評を博し居れるが右は愈二十三日夜を以てお名殘りとなる筈に付本社は特に同館に交渉の上讀者の為め[illegible]持參者に限り各等半額にて觀覽し得る事としたり

京 人形の家

西村樂天獨演 於黄金館

本廿三日限り(一枚一人通用)

讀者優待半額券

割引	普通
一等三十錢	一等六十錢
二等二十錢	二等四十錢
三等十錢	三等二十錢

京城日報社

りん病 せうかち
淋病消渇で困る方切手三錢送れば多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を無代で贈る
名古屋南かじや町 武藤龜吉

かぜねつ (面白い程きく) カギヤヒリン
[illegible]有名藥店にあり
彼是と手遲れせぬ樣直ぐ用ゐよ
本舗 名古屋 荒川長太郎

タ オ ル 印 入
内外雑貨 仁川宮町 (大) 富澤本店 (電話三六番)
製造用具 京城本町一丁目明治町角 (六) 富澤支店

外科 内科 小兒科 皮膚科 花柳病
島崎病院
京城旭町一丁目 本町通り左に入る 電話二七三六番
入院隨意 夜間診察九時迄
院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安支店 電話一〇一三九 振替口座四三九

再製鹽 原鹽
右兩鹽共[illegible]格安に御取引仕候間多少に不拘御注文被成下度願上候
龍山元町四丁目 龍山製鹽所 電話四〇七番

八島柳堂著 古賀雄祐畫
教訓 お伽噺
少年少女の好讀物 特價参拾錢
販賣所 京城 大阪屋號 京城日報社代理部發行 巖松堂 日韓書房

朝鮮銀行 京城
當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話 振替貯金口座 京城三三三番 六〇、一〇番
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、營口、長春、開原、四平街、旅順、鐵嶺、吉林、哈爾賓、傅家甸、龍井村、公主嶺、上海、天津
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

かつけみ 尾崎糠精
都築ドクトル 村井弦齋先生 命名 實驗證明
販賣元 東京市澁谷町 尾崎兄弟商會 ◎全國各藥店にあり◎

正しき 補血強壯增進劑
ブルトーゼを服用せよ!!
國産フエラトーゼとして大學病院及び各府縣立病院の御常用を添ふす
一瓶容量一五〇瓦入(約半ケ月分)
發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤商店
種類
ブルトーゼ 補血強壯增進劑
アルゼンブルトーゼ 神經性疾患特効劑
ヨードブルトーゼ 徽毒性疾患特効劑
グワヤコールブルトーゼ 呼吸器系疾患特効劑
キナブルトーゼ 健胃性補血强壯劑
各地藥店にあり
説明書進呈

女の誇りは外出美!
純白美乳
一滴ですぐ白くなる!
外出美は女の誇りであります、秋の青空の一部を切つて立てかけたとばかりの大姿見の稍々距離を置いて、これに後姿を映し・我れと我が影に思はず莞爾、何という美くしさと誇りとの限りでありませう而も此の誇りがタッタ一滴の「純白美乳」から出たことを思ひますれば今更ながら日本に初めて出來た白色劑の偉大なる効果に驚かずには居られません、それもその筈評判の「美乳」を家庭で朝夕常用してすつかり膚が調つた其上へ外出間際に塗けた「純白美乳」の一滴は生地から色を白く美しくする作用の點に於ては他に較べ物がないと醫士の證明推奬されて居る程であるから誰方が試して見てもすぐりうとした化粧染、一滴千金の味は一生忘るゝことが出來ません
(美乳一瓶二十五錢……純白美乳一瓶三十錢)
本舗 美乳本店 矢野芳香園

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門前)
酒井婦人病院
電話二六〇八番 二〇〇番
院長 酒井一郎

母と子 (一)

北島春石作 森田久畫

宵暗 (一)

秋はやう〳〵深く、人の心も沁み渡る頃となつた。ふと伏目をあげると、つい此間まで翠滴るやうな護國寺の森が、何時の間にかすつかり彩付いて、夕を告ぐる鐘の音も物の哀れを誘ふ風情。

早稲田ゆきの電車も、江戸川の終點で乗捨てた志保子が、もしや知り人にでも出逢ひはせぬかと木にも萱にも心をおいて、なるたけ人家のまばらな片側町を選びつゝ、正面遙かに護國寺の甍を臨む長い音羽の街路を左手に切れ、胸を衝きさうな急勾配の坂を登つて高田老松町へ立出でた頃は、他目を避けるパラソルに、未だ秋の陽が赤々と照返してゐた。

それからの三時間あまりを、志保子は彼方此方をうろ〳〵しながら、人待ち顔なその眼には、うきふ涙をさへ湛へてゐた。

何うやら仔細あり氣な樣子を見れば、胸に秘めたる若き血潮の狂ふがまゝに、戀人に逢はんとする心が爲めか……いや、そんな浮々しい心は微塵もない。燒け野の雉子夜の鶴の比喩に洩れず、志保子は我愛兒を一目なりとも見まほし母の側に睡られ、今こそあかの他人とはなつたれ、三年前まで緣付いてゐた岸上の家を訪ねて來たのである。

けれど、あらぬ疑惑を受けしとは云ひながら、それを何と辯解く術もなく、泣く〳〵實家へ引取られてしまつたからは、今更表立つては逢ひに行かれない。

それやこれやを考へると、志保子は胸も張裂ける心地して、往來でも何處でも構はず坐り込み、心ゆくまゝ泣いて〳〵泣きたくも思はれた。

『あゝ、わたしがこんなにまで思ふやうに、あの娘も乾度逢ひたがつて……それが血を分けた親子の情だもの、ねえ。』

さう思ふと、もう意地にも張にも我慢がし切れず、いつそ一思ひに目をつぶつて――と覺悟はすれど、岸上の門邊に佇つと強い決心も挫けて素通りを……

その思案にあまる耳朶へ、夕を告げ渡る護國寺の鐘聲。志保子が涙もつ眼をあけて、頼りなげにそこはかとなく見廻すと今まで滴してゐた夕空も暗く、護國寺の森も漆黑に塗潰されて、悲しげに鳴きつれて行く晩鴉三三點々、やつぱり秋の夕暮はしみ〴〵と淋しかつた。

東京の市内でも――殊に小石川もこの邊は郡部に近く、勤め人の巣窟とも云ふべき場所柄だけ、釣瓶おとしの秋の日が暮ると、急に往來の人も稀に、その中で氣の早いのは、もう宵寢の門を鎖しかけたのもある。

他目を忍ぶ身には、それが却て幸福でもあつたが、もう幸枝が琴のお稽古からの戻りを待伏せる希望が絶たので、その胸裡にまで夜の色が紛れ込んだやう、志保子の心は、だん〳〵暗くなつて行く。

けれど、あの强慾非道な父親が、宿醉でぐつすり寢込んだ隙を窺ひ、やう〳〵家を脱け出した苦勞や、歸つて後の責折檻を思へば、何うぞ切めて蔭ながらでもあの娘を見ないうちはと幸枝のことばかり考へつゞけ、表門を中心に取繞らした黑塀について、志保子が、そろり〳〵と步みを移すと、やがて横手の潜戸近くに出でた。と、内庭から此方へ近寄る人の氣勢……志保子は愕然として飛退いたが、何處へとて逃げるにも逃げられぬ苦しまぎれ、咄嗟には隱場所も見出されず、黑塀にピッタリ體を摩付けると、庭内から颯と開けられた扉の蔭になつて、自然と出來た隱れ場所。

さあ、佐久間さん……と、四隣憚る女の聲で『もう旦那のお歸宅に間もないから、ちつとはお前さんも氣を利かせておくれよ。』

『おい、おい、そんな邪慳にしてくれるな。』と、男は一杯機嫌の高調子『これでも、昔は可愛いの憎いのと、殺し文句の一つも痴話ぐつた仲ぢやないか。』

婦人を
――如何に取扱ふか――
講和後の婦人の位置!!!

講和は愈々時期の問題となりました。獨逸も國力の疲弊には堪へられぬと見て屈服の外なくなつたのは交戰國の國民として實に痛快を叫び度く思ひます、而して愈々講和が成立したとすれば歐米諸國は又一段の騒ぎでありませう、

◇**大火事** の跡のやうなものです、火事の最中には家族の事は勿論家財道具にしろ又其隣家との境界線にしろ一向に顧みられなかつたものが、扨て鎮火となると再び家を建て直すことから家財道具を取纏める事から隣との境界を定めることから實に忙はしい事に相違ありません殊に私共婦人として此の講和と共に最も興味を以て見たいのは英國や佛蘭西や獨逸での

◇**婦人を** 如何に取扱ふかと云ふ事です、戰前に於てさへも是れ等の諸國では男子よりも婦人の方が數が多く此數の多い婦人は生存競爭の原則からして色々の領域に迫つて居たのです女子參政權運動にしろ又女子職業問題にしろ恐く皆此の婦人の數が多いからであります、夫が戰爭となつて國内の男子が戰線に出た結果として婦人は從來男子の

◇**專有で** であつた職業にまで手を染て其位置を整つてしまつた、今講和になつたからと云つて今迄女子が爲て居た仕事を直男子に返せと云つても女子はオーソレと返すことはしますまい、女車掌とか女運轉手とか女巡査の如き職業にしてさへも立派に女で勉まつたと云ふ

◇**實例を** 示した以上は今迄のやうに男子から『それは女には勤まらないから』との簡單な理由で斥けられる譯もなかつた位では女子は其位地を男子に讓るやうな事をしないのは當然です、此始末を何してつけるか即ち男子が戰場に出てる間に故國では女子が何時の間にやら男子の座席を恐く奪つたのですから男子の方では早速

◇**座席が** 無くて困ることになるのでは有りますまいか、國と國との戰爭の片が付くと今度は男子と女子との戰爭が始まりさうです、久しく叫ばれて居た婦人解放は既に通り越して今度は再び如何にしたら婦人を束縛し得るかと云ふ事が問題になりさうです

日報俳壇

■潮音山 平壌 野村鴎原

燈臺守のめうさに夜の浪ごゝろ
浪音遠く一階の灯消されたり
水の碧さ朝月に船頭わき出たり
灘の香つよき夕ぞ渚べを歩み
時計あまた鳴り!!時計買ふ人に
起重機重くたれさがり海の雲湧く
どさと置かれし籠の中魚がはねた。
海に抱かれて島は眠れり月夜
葉と葉のふれ音のして涼しさの闇
鴎の深き朝を漕ぐヨボの唄かな
夏の宵の人だかりの迷子をのぞく
犬が嗅ぎよる地べたの醉ひどれ
霧の中より子が出。足袋の灯に
水を滿へし夕べの甕に陽がしみる
墓所の丘夕燒けて海の音響く
星空くらく星の流るゝ音したり
夜あけの星に草鞋踏みしめて旅人
草刈る男に曉の星みんな消ゆけり
星の宵にて人夫等に錢がわたさる
藪の雀靜まれば宵の星こもる

■秋立つ避暑地より 相模海岸にて 岸 待宵

柴折戸を打つ朝風も秋となり
汐の滿ちくる寂しき朝や秋の立つ
小狗まつはり朝顔の鉢が轉びし
門前の柿啄う花野月となり
朝々を來鳴く小鳥や花野晴れ
秋の立つ疇に積まれし荷物かな

□菊 五の日十日 合 浮碧樓

○曲りくねつた畠の菊男が剪る
○明らさまに惡口云ふ事眼に一杯で
ひとりで見てあるく動菊人形 眞三
○いくらか心地朝母の手の菊を仰ぎ
咲かぬ菊茂る男の子を生ませた 烏堂
○私が黑足袋はく其菊折るに任する
菊白く里人はかたく手を束ぬる 一〇二〇一

□祭 浮碧樓

○醉ふて通る秋の祭の手古舞姿で 眞三
○祭一日目でとの祭の假裝を搖いて 岸郎
○酒が溢るゝ祭の男客に
○祭の少年の言葉父に母にけしぞ淋しき
午後の日輪よ祭に醉はされし 一〇一五一

△追々長夜に付き少し早目に參會のこと。

□松尾目池兄に寄す 平壌より 烏兎生

『身に入むや亡妻の柿を闇に踏む』『みなし兒の一人飯喰ふ秋の暮』何境は今や詞兄が身の上にこそ候へ。御心事うたゝ御同情に堪へず候。

秋の暮灯もさでなほや臺所
みなし兒に寢覺る君が夜も長き
さなきだに秋に灯しも多き愁
鼻つまる心地して句も成し難く候 (十五日夜)

新刊紹介(到着順)

▲婦人界(二の一一) 鮮麗なる彩色刷の口繪及び寫眞版の外讀み物として付家向きの實際に當て篏まれる適切なる實驗談多く婦人雜誌中上乘なるものなり(二十錢、東京京橋區臺町一東京社)

▲少女畫報(七の一一) 口繪に挿畫に美麗なるアセット乃至三色版其他多く讀み物は何れも顔ちやまの好んで讀みたがりさうなもののみを撰び眼やに編輯されたり(二十錢東京京橋區臺町一東京社)

▲通俗學術講演會(七の一〇) 生物學上より見たる生と死(山内博士)教育の進化(大瀬教授)家庭の家庭教育中の話(高又農學士)講酒の話(近藤博士)認識の話、老子の養生論(近藤博士)外に耐えさ光線、節食と減食、船舶の歴史、愛犬家の心得、水を清める藻類の作用、腸窒扶斯の流行、斬新木村耐久耐火法、哲學辭典の翻譯其他あり(三十錢東京市小石川竹早町三七大日本學術協會)

▲金光教徒 二〇八 三錢五厘岡山縣淺口郡三和村大字大谷三三五其社

▲實業タイムス(一二〇) 内外の重なる出來事を明なる寫眞に撮りて一冊の畫帖となしたるもの(二十五錢京々橋區新肴町一八明治製販所)

讀者の領分

京城南山のエヌ子さまへ、不束なにお手紙お恵み下さいまして感謝いたします、まして御仕[illegible]もお名前もお明かしにならないのか、此の頃頻りに安逸と云ふことに付いて考へてゐる私、なして或る心持を得させました。貧弱な頭腦を持つて居るものですから何も出來ません。牧水先生の『創作』をお持ちださうですが、拜借さして頂いましたら結構だと存じます。(今日私も創作社より勸誘状を頂きました)而しどうかと申します、私は短歌よりも小説、評論、詩歌が好んで居ります、御散あつて先頃發刊になりました『青年文壇』を若しお持ちでしたら御通知下さいませんでせうか、まことに勝手ですが……言いのですけれど私も内地の方からお恵み下さいました地方の短歌雜誌等少々有りますからお目にかけます。お互に努力して私たちのアートの道を進みませうでは御自愛あそばせ(龍山和歌の他ほとりにて衣川園子)

南北妥協有望

▲梁士詒 周自齊等は副總統[illegible]て天津に平和促進會なる大同團結を組織し一面安福派に對抗すると[illegible]果を收め彼の

▲主戰論 を維持し居れる[illegible]するに至[illegible]組織せられ各地に於ける在野政客及び南方の重鎭の岑春煊等の贊成を得て著々平和促進運動を開始し[illegible]急速に進捗するやも知るべからず

講和と製糖界

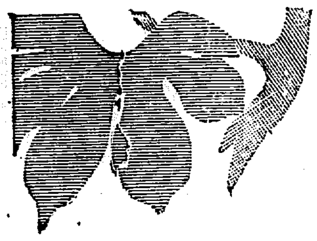
[illegible]に恐慌狀態を見たるが其後トラスト協定値段成立以來漸次糖價を恢復し最近白双糖十二盾二十五仙[illegible]相場を豫測せられつゝあり是は瓜哇トラストが戰爭の終熄を氣構へ前途の高値を見越せるに[illegible]著しき[illegible]を來し而も甜菜糖の産地たる[illegible]地利は國外輸出杜絶せる耳ならず耕地の恢復も亦容[illegible]つあれど平和の[illegible]には其等の制限も自然撤廢せらる可く且つ戰後船腹の航行は自由となり海外[illegible]各國共に茲一兩年を要すべければ結局瓜哇玖馬等の輸入に依つて其需要を補ふの外無かる可し從つて[illegible]

りん病 急性慢性を問はず博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治速なり 藥價一圓四十錢、二圓七十錢、四圓 送料不要

ルーデサック 特製品 A十個五十錢 廿個九十錢 B十個七十錢 廿個一圓三十錢 女用一個八十錢 變形一個七十五錢 月經帶一個 郵券二錢代用一割增 廿個以上送料不要 京城黃金町三 振替京城三七二二 山田文殊堂藥房

606 花柳病外科專門 梅毒・痳病・泌尿生殖器病・痔・肛門病・皮膚病・婦人病・神經衰弱・ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

[illegible] 千葉[illegible]



貴女の素顔に――ホンノリ色白くなる レートフード

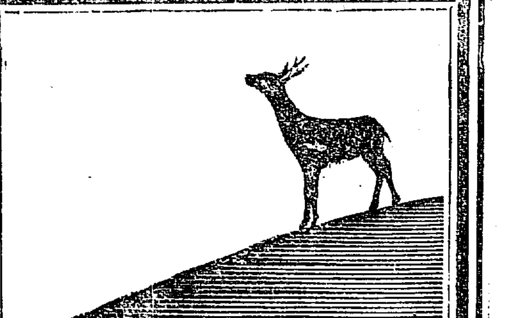
▽斯く――お顔を根底から美くしくします

レートフードの成分は非常に強うムいますから、附けると直ぐ地肌へ吸收れ、其主成分の美容素が肌の根底から整へますから、秋風に引締まる地肌は滑かに美くしくなる上に不思議な作用によつて、ホンノリ色白くなる具合は、頗る自然でムいますから、御家庭の素化粧料、隱化粧料としては實に天下一品でムいます。

本舖 東京 平尾贊平

人體の肥料 効牛乳の數倍 次亞燐 病後は勿論虛弱衰弱貧血老衰に是非召せ 各藥店にあり

本舖 大阪東區道修町二丁目 藥劑師 小西久兵衛



しかと保證の出來る 金鶴香水 品質に、香氣に、保ちに しかもあきのこぬいゝ匂ひ!